

令和 5 年度版

(2023 年度)

西宮市教育年報

西宮市教育委員会

令和5年度(2023年度)版 西宮市教育年報

目 次

第1章 教育行財政

概要	1
----	---

第1節 教育行政

1 教育委員会関係事務(220901)	1
2 教育委員会の表彰・広報活動・調査統計	2
3 校務改善の取組み	3
4 教育委員会人事関係事務(220902)	3

第2節 教育財政

1 教育費予算及び決算概要	8
---------------	---

第2章 学校教育

概要	9
----	---

第1節 学事

1 学籍等事務(220202)	9
2 奨学事業(220502)	11
3 就学奨励助成事業(220503)	12
4 入園関係事業(210213)	13
5 学校改革事務(220101)	14

第2節 学校教育

1 指導助言関係事務(220206)	15
2 基礎学力向上事業(220203)	17
3 学校体育推進事業(220602)	17
4 小学校体験活動事業(220603)	20
5 学校人権教育事業(220604)	20
6 国際教育事業(220608)	22
7 トライやる・ウィーク推進事業(220606)	23
8 学校へのサポート	24
9 進路指導	28
10 高校教育	29
11 防災教育	29

第3節 特別支援教育

1 特別支援教育事業(220401)	30
--------------------	----

第4節	学校保健安全	3 1
1	生徒指導事業（220504）	3 1
2	校内災害対策事業（220505）	3 5
3	学校健康診断事業（220506）	3 6
4	学校保健管理事業（220507）	3 7
5	教育支援センター事業（220512）	3 9
6	不登校児童生徒支援事業（220511）	3 9
第5節	学校給食	4 3
1	給食管理運営事業（220508）	4 4
2	給食施設設備整備事業（220509）	4 6
第6節	学校情報化推進	4 7
1	学校情報化推進事業（220207）	4 7
第7節	総合教育センター	4 8
1	研究・研修事業（220701）	4 8
2	現職教育－専門研修	5 0
3	現職教育－職務研修	5 1
4	教育情報	5 3

第3章 社会教育（教育委員会所管分）

	概要	5 6
第1節	社会教育	5 7
1	家庭教育関係事業（230201）	5 7
2	学校・家庭・地域の連携協力推進事業（230202）	5 8
3	放課後キッズルーム事業（230305）	5 9
第2節	青少年教育	6 1
1	青少年育成事業（230102）	6 1
2	青少年関係団体の育成	6 1
3	山東自然の家管理運営事業（230104）	6 2
4	青少年補導関係事業（230103）	6 2
5	山東自然の家改修事業（230106）	6 3

第4章 教育施設

	概要	6 4
1	施設整備事業	6 5
2	学校維持管理事業（220803）	7 0
3	施設管理関係事務（220802）	7 1

第 1 章 教 育 行 財 政

概 要

教育行財政に関する令和 5 年度の主な事務事業は次のとおりである。

教育委員会会議を開催し、『西宮教育推進の方向』における西宮教育の推進方針をはじめ、教育行政の基本方針について決定した。

表彰関係では、西宮市教育功労者表彰などを行った。

広報関係では、本市教育行政を紹介するため、『教育要覧』及び『教育年報』を作成した。また、シティプロモーションサイトの教育カテゴリにて本市の特徴的な教育施策などの発信を行うとともに、学校園や各教育機関の行事などについて、市政記者クラブへの情報提供を行った。

財政関係では、教育費の最終予算現額は 219 億 3,398 万円で、執行済額は、令和 4 年度と比べて小学校施設整備事業費で 9 億 2,665 万円、瓦木中学校教育環境整備事業費で 2 億 7,251 万円増加したが、安井小学校教育環境整備事業費で 27 億 8,775 万円、中学校施設整備事業費で 3 億 3,198 万円、春風小学校教育環境整備事業費で 2 億 8,360 万円、それぞれ減少となり、201 億 1,284 万円であった。

職員数については、配置調整により、令和 4 年 4 月 1 日に比し 13 人の減員を行った。

地方創生臨時交付金を活用し、学校給食費の改定による増額分に充当することにより、保護者負担額を改定前の金額のまま据え置きとした。また、各学校が感染症の影響を最小限に止めながら学校教育活動を着実に継続できる環境を維持するために必要な消耗品費や備品購入費などを各学校に配当して支援を行ったほか、学校トイレの床の乾式化、一部洋式便器化及び小便器自動洗浄機能追加改修などを行った。

第 1 節 教育行政

1 教育委員会関係事務 (220901)

(1) 教育長及び教育委員 令和 6 年 3 月末現在

教育長	重松 司郎
委員 (教育長職務代理者)	側垣 一也
委員	長岡 雅美
委員	藤原 唯人
委員	山本 幸夫

(2) 教育委員会の会議

ア 開催状況

区分	定例会	臨時会	合計
回数	12	5	17

イ 案件

区分	議案	報告	一般報告・資料提供
件数	69	21	37

(3) 総合教育会議

回	月日	議題・内容
1	7/26	アフターコロナの学校生活について
2	3/29	重松教育長講演「これからの未来を考える ～教育の今後について～」

2 教育委員会の表彰・広報活動・調査統計

(1) 教育委員会の表彰

名 称	月日	目 的	被表彰者数
西宮市教育功労者表彰	1/30	教育の振興、発展に資するため、教育に顕著な功績があった者を表彰する。	3 個人
教育長表彰	2/6	教育、学術、技芸、体育その他文化の振興発展に寄与し、その功績が顕著な生徒、児童又は園児を表彰する。	22 個人 8 団体

(2) 広報活動

広報印刷物

名 称	発行回数	発行総部数
教育要覧（令和 5 年度版）	1	801
教育年報（令和 4 年度版）	1	111

(3) 調査統計

種 別	内 容
学校基本調査（基幹統計）	児童・生徒・教員数等の調査、卒業後の状況調査、幼稚園・小学校・中学校・各種学校等の施設調査等
地方教育費調査	地方教育費の調査等
その他の調査	他市からの照会調査等

3 校務改善の取組み

平成 21 年度から校務支援システムを順次開発し、ICT 機器の活用による校務の負担軽減に努めた。

平成 29 年度から担当課名を校務改善課に改称し、負担軽減を図る取組みを強化した。令和元年度から校務改善課は発展的に解消し、担当業務を教育研修課と教育職員課が引き継いだ。主な改善策として、令和 2 年度に策定した西宮市立学校の教育職員の業務量の適切な管理に関する措置等を定める規則及び方針の実効性のある取組みとして、教職員の勤務時間を客観的に把握する勤務時間管理システムを導入した。また、全ての学校において電話機による自動音声案内の導入や小学校・中学校・義務教育学校で欠席連絡アプリを導入し、校務の負担軽減を図った。

また、教職員の勤務時間適正化について市民や保護者の理解を得るため、市政ニュースや HP 等で広報を行った。さらに教職員の業務負担を軽減するため、スクール・サポート・スタッフを全校に配置した。

4 教育委員会人事関係事務 (220902)

(1) 職員の異動（学校園勤務の教育職員・県費職員を除く）

職種	区分	兼任	出向受	試用解除	昇任	転任	解職	休職	復職	出向	解任	退職	再任用	
													採用	退職
事務・技術職員		0	12	3	7	12	0	8	1	11	0	2	0	0
技能・労務職員		0	0	0	4	40	0	12	0	0	0	2	6	8
医療職員		0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
教育職員		9	0	0	4	5	0	0	0	0	10	2	0	0
合計		9	13	3	15	57	0	20	2	12	10	6	6	8

(2) 教職員の異動

ア 校園長の異動

区分	小学校	中学校	義務教育学校	特別支援学校	高等学校	幼稚園	計
新採用	5	3	0	0	0	1	9
市内異動	3	0	0	0	0	1	4
市外	1	0	0	0	0	0	1
転入	1	0	0	0	0	0	1
転出	0	0	0	0	0	0	0
前年度退職	5	3	1	0	0	2	11
合計	14	6	1	0	0	4	25

イ 教頭の異動

区分	小学校	中学校	義務教育学校	特別支援学校	高等学校	幼稚園	計
新採用	5	4	0	0	0	1	10
市内異動	6	4	1	0	0	2	13
市外	0	0	0	0	0	0	0
転入	0	0	0	0	0	0	0
転出	0	0	0	0	0	0	0
前年度退職	0	1	0	0	0	0	1
合計	11	9	1	0	0	3	24

ウ 一般教職員の異動

区分	教諭(主幹教諭含む)							(主幹教諭含む) 養護教諭	(主幹教諭含む) 栄養教諭	中計	県費事務職員	計	
	小学校	中学校	義務教育学校	特別支援学校	高等学校	幼稚園	小計						
新採用	51	22	1	3	0	2	79	1	0	80	1	81	
市内異動	92	40	2	3	0	4	141	3	3	147	6	153	
市外	転入	4	6	1	1	3	0	15	0	0	15	0	15
	転出	13	3	1	1	1	0	19	1	0	20	0	20
前年度退職	34	23	0	2	3	1	63	2	1	66	0	66	
合計	194	94	5	10	7	7	317	7	4	328	7	335	

※ 「市内」には、市教委事務局採用を含む。

「市内」には、小学校・中学校・特別支援学校・高等学校の校種間異動を含む(校種間異動は入りの校種で計上)。

「市外」には、県立学校・国立学校・他府県・県教委事務局採用を含む。

「前年度退職」は、令和4年度のものを。

再任用は含まない。

(3) 事務局及び教育機関(学校園を除く)職員現員状況(令和6年3月1日現在)

課名	行政職								医療職			教育職				
	次長 部長	課長	係長	主査 副主査 主事	技師	技能職	労務職	計	係長	栄養士	計	次長 部長	課長	係長	指導 主事	計
教育次長	1							1				1				1
参与	1							1								
教育総括室	1							1								
教育総務課		2	6	4				12								
教育人事課		1	3	4				8								
教育職員課			2	1				3				1	3	1	5	
学校管理課		2	7	12				21								
学校給食課		2	3	4				9	2	2						
学校支援部	1							1								
地域学校協働課		2	3	2				7								
青少年育成課		1	3	3				7								
学事課		1	2	6				9								
学校改革課		1	1	1				3						1	1	
学校教育部												1				1
学校教育課			1	1				2					1	3	7	11
学校保健安全課			2	3				5					2	1	8	11
教育研修課		1	2	1			3	7					1	3	5	9
				(2)				(2)								
特別支援教育課			1					1					1	1	3	5
計	4	13	36	42	0	0	3	98	0	2	2	2	6	12	24	44
				(2)				(2)								

※ カッコ内は再任用短時間勤務職員で外教。

(4) 学校園職員現員状況 (令和6年3月1日現在)

ア 小学校

職名 校名	県費教職員							市費職員							合計		
	校長	教頭	教諭	養護教諭	事務職員	学校栄養職員 栄養教諭	小計	用務班長	用務員	用務員 会計年度任用 A員	子調理員	調理員	子調理員 会計年度任用 A員	調理員 会計年度任用 A員		学校事務 教職員 教育員	正規 小計
浜 脇 小	1	1	33 (1)	1	2	1	39 (1)			1	1			6	1	2	48 (1)
香 榎 園 小	1	1	45 (1)	2	2	1	52 (1)	1			1			6		2	60 (1)
安 井 小	1	1	33	1	1	1	38		1		1			5		2	45
夙 川 小	1	1	41	1	2	1	47		1		1			5		2	54
北 夙 川 小	1	1	30	1	1	1	35		1		1			4		2	41
苦 楽 園 小	1	1	23 (1)	1	1	1	28 (1)		1		1			4	1	3	35 (1)
大 社 小	1	1	26 (1)	1	1	1	31 (1)		1		1			4		2	37 (1)
神 原 小	1	1	23	1	1		27			1	1			3		1	32
甲 陽 園 小	1	1	39 (1)	2	2	1	46 (1)		1		1	1		5	1	3	55 (1)
広 田 小	1	1	36 (1)	2	2	1	43 (1)		1		1			5		2	50 (1)
平 木 小	1	1	24	1	1		28			1	1	1		2		1	33
甲 東 小	1	1	36	2	2	1	43		1		1			5		2	50
上 ヶ 原 小	1	1	33	1	2	1	39		1		1			5	1	3	47
上 ヶ 原 南 小	1	1	26	1	1	1	31				1			4	1	2	37
段 上 小	1	1	24	1	1	1	29				1			4	1	2	35
段 上 西 小	1	1	33 (1)	1	1	1	38 (1)		1		1			5	1	3	46 (1)
樋 ノ 口 小	1	1	39	2	2	1	46		1		1			5		2	53
高 木 小	1	1	32	1	2	1	38		1		1	1		4	1	3	46
高 木 北 小	1	1	29	1	1	1	34		1		1			4	1	3	41
瓦 木 小	1	1	20	1	1	1	25		1		1	1		2	1	3	31
深 津 小	1	1	31	1	1	1	36			1	1			4	1	2	43
瓦 林 小	1	1	26 (2)	1	1	1	31 (2)		1		1			4	1	3	38 (2)
上 甲 子 園 小	1	1	34	1	2	1	40		1		1			5		2	47
津 門 小	1	1	31	1	1	1	36		1		1	1		4		2	43
春 風 小	1	1	41	2	2	1	48		1		1			6		2	56
今 津 小	1	1	24 (1)	1	1	1	29 (1)				1			4	1	2	35 (1)
用 海 小	1	1	28	1	1	1	33				1			4		1	38
鳴 尾 小	1	1	16	1	1		20		1		1			4	1	3	27
南 甲 子 園 小	1	1	37 (1)	2	2	1	44 (1)					1		5	1	1	51 (1)
甲 子 園 浜 小	1	1	26	1	1	1	31		1		1			4	1	3	38
高 須 小	1	1	16 (1)	1	1		20 (1)		1		1			2	1	3	25 (1)
高 須 西 小	1	1	20	1	2		25			1	1			3		1	30
鳴 尾 東 小	1	1	25	1	1	1	30	1		1	1			4	1	3	38
鳴 尾 北 小	1	1	46 (1)	2	2	1	53 (1)		1			1		7		1	62 (1)
小 松 小	1	1	30	1	1	1	35		1		1			4	1	3	42
山 口 小	1	1	18	1	1		22		1		1			3		2	27
北 六 甲 台 小	1	1	21	1	1		25		1		1			3		2	30
名 塩 小	1	1	22 (1)	1	1		26 (1)		1		1			3		2	31 (1)
東 山 台 小	1	1	19	1	2		24		1		1			3	1	3	30
生 瀬 小	1	1	21 (1)	1	1		25 (1)		1		1			3		2	30 (1)
計	40	40	1157 (15)	48	55	30	1370 (15)	2	28	6	38	5	2	166	20	88	1637 (15)

イ 中学校

職名 校名	県 費 教 職 員							市 費 職 員										合計	
	校 長	教 頭	教 諭	養 護 教 諭	事 務 職 員	学 校 栄 養 職 員	小計	用 務 班 長	用 務 員	会 計 年 度 任 用 A 員	介 助 員	介 助 員	介 助 員	調 理 員	調 理 員	会 計 年 度 任 用 A 員	会 計 年 度 任 用 A 員		学 事 校 務 教 育 員
浜 脇 中	1	1	40	2	2	1	47	1		1	1					5	1	3	56
大 社 中	1	1	44 (1)	2	2	1	51 (1)	1		1					1	6	1	2	61 (1)
若 楽 園 中	1	1	25	1	1		29		1		1					3	1	3	35
上 夕 原 中	1	1	36	1	2	1	42		1		1					4		2	48
甲 陵 中	1	1	38 (2)	1	2	1	44 (2)		1		1					4		2	50 (2)
平 木 中	1	1	25	1	2		30	1		1	1					3	1	3	37
甲 武 中	1	1	47	2	2	1	54		1		1					5	1	3	62
瓦 木 中	1	1	37 (1)	1	2	1	43 (1)		1		1	1				4		2	50 (1)
深 津 中	1	1	24	1	1		28	1		1	1					3	1	3	35
上 甲 子 園 中	1	1	35 (1)	1	2	1	41 (1)		1		1					4	1	3	48 (1)
今 津 中	1	1	25	1	1		29		1		1					4		2	35
真 砂 中	1	1	29	1	1		33		1		1					4		2	39
鳴 尾 中	1	1	31 (1)	1	1	1	36 (1)		1						1	5	1	2	44 (1)
浜 甲 子 園 中	1	1	20	1	1		24		1		1					3	1	3	30
鳴 尾 南 中	1	1	21	1	1		25			1	1					3		1	30
高 須 中	1	1	16 (1)	1	1		20 (1)	1		1	1					2	1	3	26 (1)
学 文 中	1	1	33	1	1	1	38		1						1	4		1	44
山 口 中	1	1	26	1	1		30		1		1					3	1	3	36
塩 瀬 中	1	1	35	1	1	1	40		1		1					4	1	3	47
計	19	19	587 (7)	22	27	10	684 (7)	5	13	6	16	1	3	73	12	46		813 (7)	

ウ 義務教育学校

職名 校名	県 費 教 職 員							市 費 職 員										合計	
	校 長	教 頭	教 諭	養 護 教 諭	事 務 職 員	学 校 栄 養 職 員	小計	用 務 班 長	用 務 員	会 計 年 度 任 用 A 員	介 助 員	介 助 員	介 助 員	調 理 員	調 理 員	会 計 年 度 任 用 A 員	会 計 年 度 任 用 A 員		学 事 校 務 教 育 員
西宮浜義務(前)	1	1	14	1	1	1	19						1			2	1	4	23
西宮浜義務(後)		2	14	1	1		18		1				1			2	1	5	23
計	1	3	28	2	2	1	37	0	1	0	2	0	0	0	4	2	9	46	

エ 特別支援学校

職名 校名	県 費 教 職 員							市 費 職 員										合計		
	校 長	教 頭	教 諭	養 護 教 諭	事 務 職 員	学 校 栄 養 職 員	小計	実 習 助 手	用 務 班 長	用 務 員	会 計 年 度 任 用 A 員	介 助 員	介 助 員	介 助 員	調 理 員	調 理 員	会 計 年 度 任 用 A 員		会 計 年 度 任 用 A 員	学 事 校 務 教 育 員
西 宮 支 援	1	2	51	2	3	1	60	2		1		4	26	1			2	1	37	125
計	1	2	51	2	3	1	60	2	0	1	0	4	26	1	0	0	2	1	37	125

オ 高等学校

職名 校名	教 育 職 員						職 員									合計
	校 長	教 頭	教 諭	養 護 教 諭	実 習 助 手	小 計	事 務 長	係 長	主 副 主 査 査 事	用 務 班 長	用 務 員	会 計 年 度 任 用 A 員	家 作 業 政 員	学 事 校 務 教 育 員	正 規 小 計	
西 宮 高	1	2	59	2	3	67	1	1	2		1		2	1	8	75
西 宮 東 高	1	2	(1) 51	2	1	(1) 57	1	1	1		1		3	1	8	(1) 65
計	2	4	110 (2)	4	4	124 (2)	2	2	3	0	2	0	5	2	16	140 (2)

カ 幼稚園

職名 園名	園 長	教 頭	教 諭	養 護 教 諭	園 務 員	計	職名 園名	園 長	教 頭	教 諭	養 護 教 諭	園 務 員	計
用 海 幼 園							高 須 西 幼 園						
夙 川 幼 園	1		2	1	1	5	鳴 尾 東 幼 園	1	1	3	1	1	7
越 木 岩 幼 園	1		4	1	1	7	鳴 尾 北 幼 園						
大 社 幼 園	1		4	1	1	7	小 松 幼 園			2	1	1	5
あ お ぞ ら 幼 園	1		3	1	1	6	山 口 幼 園	1					
上 ケ 原 幼 園	1		2	1	1	5	生 瀬 幼 園	1	1	2	1		5
門 戸 幼 園	1		4	1	1	7							
高 木 幼 園	1						計	13	4	34	13	12	76
瓦 木 幼 園													
春 風 幼 園	1		2	1	1	5							
今 津 幼 園													

※ 「教諭」には、本定欠臨任を含む（代替臨任は含まない）。
 カッコ内は再任用短時間勤務職員または嘱託職員数で外数。
 「園長」には、兼務園長を含む。

(5) 職員の研修（下記以外の研修厚生課実施研修については「研修概要」のとおり。）

ア 教育人事課・教育職員課 実施研修

区分	研修名	実施時期	受講者数	備 考	
市費学校職員	チーフ調理員研修	8月	49	テーマ「リーダー研修」	
	学校教育事務員 庶務研修	8月	29	テーマ「就学奨励事務・服務関係、旅費の事務処理について」	
	新任用務員研修	7・8・9月	9	テーマ「刈払機取扱作業安全衛生教育研修」	
県費学校職員	新任管理職研修会	5・6・8月	30	5月 東館研修室1 6月 東館研修室3 8月 東館研修室1	
教育人事課・教育職員課研修（計）			—	117	—

イ 派遣研修

派遣先・研修名	実施時期	受講者数	備 考	
人権・同和 問題研修	兵庫県人権・同和教育研究阪神地区大会	7月	2	猪名川町
	兵庫県人権教育 研究大会中央大会	—	—	全国人権・同和教育研究大会 と兼ねて実施
	全国人権・同和教育 研究大会	11月	1	明石市 他
派遣研修（計）		—	3	—

第2節 教育財政

1 教育費予算及び決算概要

(1) 令和5年度 教育費予算及び決算

(単位：円)

区 分	予 算 現 額	執 行 済 額	翌年度繰越額	不 用 額
教 育 総 務 費	3,202,545,000 (62,436,000)	2,957,865,728 (60,165,956)	0	244,679,272 (2,270,044)
小 学 校 費	6,758,407,000	6,019,658,155	59,302,000	679,446,845
中 学 校 費	3,283,670,000	2,860,367,363	16,300,000	407,002,637
特 別 支 援 学 校 費	430,060,000	398,905,702	0	31,154,298
高 等 学 校 費	2,299,278,000	2,185,161,434	0	114,116,566
幼 稚 園 費	787,565,000	734,373,724	0	53,191,276
社 会 教 育 費	631,141,000	603,412,895	0	27,728,105
保 健 体 育 費	4,541,314,000	4,353,097,380	76,560,000	111,656,620
教 育 費 計	21,933,980,000 (62,436,000)	20,112,842,381 (60,165,956)	152,162,000	1,668,975,619 (2,270,044)

※ カッコ内はこども支援局分で内数として計上している。

(2) 教育費年度別一般会計との比較 [最終予算及び決算額は継続費・繰越明許費・事故繰越しを含む]

(単位：円)

年度	当 初 予 算			最 終 予 算			決 算 額		
	A 一般会計	B 教育費	B/A (%)	A 一般会計	B 教育費	B/A (%)	A 一般会計	B 教育費	B/A (%)
元	184,073,481,000	23,420,921,000 (87,662,000)	12.7	186,471,014,560	25,751,898,000 (86,271,000)	13.8	175,091,366,252	21,731,859,754 (81,940,623)	12.4
2	193,080,562,000	24,412,744,000 (1,790,921,000)	12.6	249,548,974,000	26,946,622,000 (1,876,999,000)	10.8	235,208,367,307	24,064,451,483 (1,765,705,251)	10.2
3	193,856,204,000	21,791,443,000 (65,809,000)	11.2	222,450,640,775	21,647,874,275 (67,413,000)	9.7	204,934,200,482	19,928,440,801 (65,134,405)	9.7
4	195,828,360,000	23,493,075,000 (66,364,000)	12.0	215,884,547,000	24,109,079,000 (66,565,000)	11.2	200,591,167,420	22,168,727,661 (62,741,322)	11.1
5	195,231,848,000	22,001,034,000 (65,870,000)	11.3	208,534,852,000	21,933,980,000 (62,436,000)	10.5	197,599,264,674	20,112,842,381 (60,165,956)	10.2

※ カッコ内はこども支援局、産業文化局、市民局所管分で内数として計上している。

第 2 章 学 校 教 育

概 要

教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者を育成する普遍的な営みである。西宮市は、昭和 38 年の「文教住宅都市宣言」以来、教育に寄せる市民の熱い思いと教育の発展に尽くされた先人の努力に支えられながら、今日の教育環境を築き上げてきた歴史がある。このような教育に対する市民の期待と負託に応えるべく、「平和・人権・国際・環境教育」を要とし、学習者一人一人の可能性を开花させる創造的な営みが盛んになるよう、「夢はぐくむ教育のまち西宮」の推進に力を注いできた。

学校教育においては、学校・家庭・地域の緊密な連携のもと、総がかりで児童生徒一人一人の個性や特性を生かし育むとともに、集団生活を通して自他を尊重し、将来において社会的に自己実現ができるよう、「生きる力」の醸成に努めていかねばならない。そのために、子供たちの育ちや学びの連続性を踏まえた「西宮型小中一貫教育」の実施に向けた取組みをさらに進めるとともに、校園長のリーダーシップのもと、子供や地域の実情に応じた創意工夫ある教育活動を展開する、「自主・自律の学校」の創造を目指し、以下のような取組みを進めた。

令和 2 年度から続く新型コロナウイルス感染症は感染拡大期があり、教育活動に大きな影響を与え、学校現場に混乱を来した。

そのような中、「学びを止めない」という方針のもと、各市立学校において登校することができない児童生徒に対してオンラインを活用した学習支援の実施に取り組んだ。

また、令和 3 年度からは、各市立学校園の児童生徒及び教職員等における濃厚接触者の特定等業務について学校保健安全課の職員に保健所新型コロナウイルス感染症対策室の職を併任させた上で同対策室の分室を設置し、その対応に当たった。加えて濃厚接触者の特定等業務や、学校給食における新型コロナウイルス感染症による出席停止等に伴う食数管理等業務の一部を教育委員会事務局の全所属による協力体制のもと、その対応に当たった。

令和 5 年度は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが 5 類感染症となり、ポストコロナにおける新たな学びのあり方を推進した。

第 1 節 学 事

1 学籍等事務 (220202)

(1) 小学校新 1 年生の入学状況 (令和 5 年 4 月 9 日現在)

令和 5 年 4 月の小学校入学適齢児は平成 28 年 4 月 2 日から平成 29 年 4 月 1 日までの出生者で、住民基本台帳から抽出した日本人及び就学申請をした外国人から学齢簿を作成した。

小学校入学者数

学齢児童総数	市立小学校入学者	私立小学校等入学者	私立小学校等入学者の内訳			
			私立小学校	国立小学校	特別支援学校	その他
4,395	4,252	143	88	1	19	35

※ 市立小学校には義務教育学校も含む。

(2) 中学校新1年生の入学状況（令和5年4月9日現在）

中学校新1年生については、小学校卒業者のうち市外転出者を除き、市立中学校又は私立中学校等に就学した。

中学校入学者数

学齢生徒総数	市立中学校入学者	私立中学校等入学者	私立中学校等入学者の内訳			
			私立中学校	国公立中学校	特別支援学校	その他
4,690	3,601	1,089	943	56	37	53

市立中学校に入学した者の内訳

市立小学校卒業者	3,541	市外転入者等	60
----------	-------	--------	----

※ 市立小学校・中学校には義務教育学校も含む。

(3) 市立小学校6年生の卒業状況（令和6年3月31日現在）

卒業生総数	進 学 先				
	市立中	私立中	国公立中	特別支援学校	市外転出等
4,434	3,438	879	74	6	37

※ 市立中学校には義務教育学校も含む。

(4) 児童生徒の転校等異動状況

令和5年5月1日から令和6年5月1日までの1年間における市立小学校・中学校児童生徒等異動状況は次のとおりである。

区分	R5/5/1 児童生徒数	異 動 内 容				R6/5/1 児童生徒数
		新入学	転入学	転退学	卒業	
小	(723)	(151)	(110)	(31)	(122)	(831)
	25,863	3,853	793	715	4,434	25,360
中	(258)	(110)	(15)	(9)	(82)	(292)
	10,888	3,500	140	130	3,732	10,666

※ カッコ内は特別支援学級児童生徒で内数。

※ 市立小学校・中学校には義務教育学校も含む。

(5) 遠距離通学費等補助金

遠距離通学等に係る経費の一部を補助し、保護者の負担を軽減するため、次のとおり遠距離通学費等補助金を給付した。

校種	給付人員	給付額（円）
小学校	182	2,182,552
中学校	283	3,546,458

2 奨学事業 (220502)

(1) 奨学金の給付及び貸付

学習能力を有するにもかかわらず、経済的な理由により修学困難な者に対して、次のとおり奨学金の給付及び貸付を行った。

名 称	校 種	区 分	給付人員	総 額 (円)
西宮市教育委員会奨学金	高等学校 (給付)※	国公立	201	12,881,000
		私 立	288	23,816,100
		計	489	36,697,100
	大学 (貸付)	国公立	2	240,000
		私 立	45	7,560,000
		計	47	7,800,000
藤 田 奨 学 金	大学 (貸付)	国公立	0	0
		私 立	0	0
		計	0	0
廣 藤 奨 学 金	大学 (給付)	国公立	2	216,000
		私 立	2	288,000
		計	4	504,000
高 橋 奨 学 金	大学 (給付)	国公立	2	200,000
		私 立	6	600,000
		入学準備金	1	400,000
		計	9	1,200,000
オンライン学習通信費給付金	高等学校 (給付)※	国公立	201	2,732,480
		私 立	186	2,442,440
		計	387	5,174,920

※ 国公立高等学校から私立高等学校への転校者2人有り。

(2) 在日外国人学校就学助成

市内在住で、小学校・中学校の学齢の外国人学校に在学する児童生徒をもつ保護者に就学助成を行った。

区 分	給付人員	給 付 額 (円)
学 齢 児 童	9	765,000
学 齢 生 徒	4	340,000
計	13	1,105,000

3 就学奨励助成事業 (220503)

(1) 就学奨励金の給付

ア 通常学級・特別支援学級就学奨励費

義務教育課程において、経済的な理由により就学困難な児童生徒の保護者に、就学奨励の目的をもって次のとおり就学奨励金を給付した。また、特別支援学級在籍児童生徒の保護者に対して、その就学に係る経済的負担を軽減するため、次の就学奨励金を給付した。

費目	区分 校種	1人当たり給付額 (円)	通常学級就学奨励費		特別支援学級就学奨励費	
			給付人員	給付額(円)	給付人員	給付額(円)
給食費	小	1食 275× 実施回数分	2,256	107,964,185	463	22,056,620
	中	1食 325× 実施回数分	1,267	67,457,455	165	8,921,835
学用品費	小	1年 11,630 2～6年 13,900 特別支援学級 11,640	2,266	29,865,041	473	5,369,920
	中	1年 22,730 2・3年 25,000 特別支援学級 22,740	1,287	30,465,741	175	3,932,125
修学旅行費	小	実費	448	9,019,682	75	1,508,160
	中	実費	439	19,517,736	46	2,025,376
校外活動費	小	実費	2,003	4,541,133	409	964,262
	中	実費	1,097	2,424,602	147	393,073
泊を伴う校外活動費	小	実費	0	0	0	0
	中	実費	0	0	0	0
新入学用品費	小	51,060	83	4,237,980	66	3,369,960
	中	60,000	38	2,280,000	10	600,000
卒業諸費	小	11,000	457	5,027,000	81	891,000
	中	9,200	474	4,360,800	54	496,800
通学費	小	実費相当	4	147,300	26	584,888
	中	実費相当	3	367,839	32	1,139,716
転入学用品費	中	20,500	9	184,500	2	41,000
給付総額			287,860,994		52,294,735	

※1 準要保護児童生徒数 通常学級 小 2,270人 中 1,293人
特別支援学級 小 479人 中 177人

要保護児童生徒数 小 290人 中 192人

※2 この表と別に、新小学1年生及び新中学1年生に対し、新入学用品費を給付した。
(小学校 240人 12,974,400円、中学校 455人 27,300,000円)

※3 小学校・中学校には義務教育学校も含む。

イ 特別支援学校就学奨励費

西宮支援学校在学の就学奨励生 22人に対して、県支給額と市支給額との差額として総額 753,159円を給付した。また、トレーニングウェアを 42人に対して現物給付(41,580円)した。

4 入園関係事業 (210213)

(1) 幼稚園児の就園状況

令和5年5月の幼稚園在園児は、平成29年4月2日から平成31年4月1日までの出生者で、4歳児172人、5歳児208人であった。

(2) 幼稚園児の募集

令和6年度の入園児の募集を次のとおり行った。

ア 応募資格

いずれも西宮市に居住し住民登録をしている者。

4歳児（平成31年4月2日から令和2年4月1日までの間に出生した幼児）

5歳児（平成30年4月2日から平成31年4月1日までの間に出生した幼児）

イ 修業年限

2年保育（5歳児は1年保育）

ウ 募集期間

令和5年10月2日（月）～5日（木）の4日間。

エ 入園願書の交付

令和5年9月1日（金）から各園で交付。

オ 選考方法

市立幼稚園13園のうち、4歳児・5歳児について、定員内であったため全員の入園を決定した。

カ 募集状況

幼稚園名	5歳児		4歳児		幼稚園名	5歳児		4歳児	
	学級	定員	学級	定員		学級	定員	学級	定員
浜脇	2	70	1	8	今津*	-	-	-	-
用海*	-	-	-	-	南甲子園	1	35	1	30
夙川	2	70	1	30	浜甲子園*	-	-	-	-
越木岩	2	70	1	30	高須西*	-	-	-	-
大社	2	70	1	30	鳴尾東	2	70	1	30
附属あおぞら	2	70	1	30	鳴尾北*	-	-	-	-
上ヶ原	2	70	1	30	小松*	-	-	-	-
門戸	2	70	1	30	山口	2	70	1	30
高木	2	70	1	30	名塩*	-	-	-	-
瓦木*	-	-	-	-	生瀬	1	35	1	30
春風	2	70	1	30	合計	24	840	13	368

※ 浜甲子園幼稚園は、平成25年度から休園。今津幼稚園は、平成29年度から休園。
鳴尾北幼稚園は、平成30年度から休園。高須西・小松・名塩幼稚園は、令和元年度から休園。
用海・瓦木幼稚園は、令和2年度から休園。

(3) 実費徴収分補足給付等

低所得世帯の子供においても円滑に教育を受けることができるよう、生活保護受給世帯を対象に、幼稚園において実費で支払った経費（副食材料費、その他教材費等）の補助を行った。対象者4人に対し、計90千円の給付を行った。

また、市民税所得割合算額が77,101円未満の世帯等の94人に対し、計235千円の副食費免除を行った。

5 学校改革事務 (220101)

(1) 通学路安全警備業務委託

西宮市立苦楽園小学校、苦楽園中学校、平木小学校の児童生徒の登下校時における通学の安全を図るため通学路の警備業務を委託した。

(2) 通学路緊急合同点検後の進捗管理

平成 24 年に全国で登下校中の児童生徒が死傷する事故が相次いで発生したことから、同年 7～8 月にかけて各小学校の通学路において関係機関と連携して緊急合同点検を実施し、平成 26 年 3 月には、「西宮市通学路交通安全プログラム」を策定した。

その後の継続的な通学路の安全を確保するために、令和 5 年度は 9 小学校（香櫨園小・甲陽園小・上ヶ原小・高木小・深津小・鳴尾小・高須小・高須西小・西宮浜義務）の 63 箇所において点検を行った。その後 180 件の対策が可能となり 154 件の対策は既実施、26 件については今後対策予定である。

《令和 5 年度通学路合同点検の対策数》

	道路管理者による対策			警察による 対策	市による 対策	市教委・学校 による対策	計
	市道管理者	県道管理者	国道管理者				
対策済	46	2	0	33	22	51	154
対策予定	8	0	0	14	0	4	26
計	54	2	0	47	22	55	180

(3) 市内通学路注意喚起看板等掲示物の設置及び更新

学校や地域の要望を受け、通学路の安全確保のため、新たに 6 枚の注意喚起サイン、30 枚の注意喚起「文マーク」を設置した。

(4) 西宮市立総合教育センター附属西宮浜義務教育学校の就学に係る説明会等

西宮浜義務教育学校の特認校制度を利用する児童生徒の募集に関して、様々な媒体を活用した広報活動、また 8 月に市内 2 箇所で開催した学校説明会、10 月に就学説明会を開催した。そして、西宮浜義務教育学校の特認校制度利用者のうち、自家用車での送迎児童、及び東西校舎を移動する児童の安全確保のため、警備業務の委託を行った。

(5) 連携公立幼稚園事業の実施

令和 4 年度より保育所等待機児童対策として、市立幼稚園 2 園において、特区小規模保育施設の卒園児を受け入れるための「就労家庭枠」を設け、預かり保育（長時間保育）を実施した。

第2節 学校教育

1 指導助言関係事務 (220206)

(1) 「令和5年度(2023年度)学校教育推進の方向」

各年度、西宮教育推進のための基本方針を策定し、学校教育・社会教育をあわせて「西宮教育推進の方向」としてまとめ、各学校園等に配布し、その趣旨の徹底を図っている。

学校教育については、「学校教育推進の方向」として学校教育推進のための指標、具体的方針及び施策をまとめ、全教職員の手引きとして配布し、西宮教育推進の徹底を期した。「学校教育推進の指標」は次のとおりである。

- | | | |
|---|---------------|---|
| 1 | 子供の育ちのためにつながる | (1) 家庭・地域とつながる
(2) 校内や校種間につながる |
| 2 | 「生きる力」をはぐくむ | (1) これからの社会で求められる資質・能力
(2) 「確かな学力」をはぐくむ
(3) 「豊かな心」をはぐくむ
(4) 「健やかな体」をはぐくむ |
| 3 | 子供の育ちをささえる | (1) 学びの質の向上に取り組む
(2) 教育環境の整備 |

「学校教育推進の重点」にある「評価項目」の一層の活用を図るために、「にしのみや 学校評価ガイドライン」を作成している。各評価項目の市全体の結果は、市HPで広く公表し、自校と市全体の評価結果を知ること、学校改善に役立てることができるようにした。また、市教育委員会として、学校に対する支援や条件整備等の参考にできるよう配慮した。

(2) 学校園の訪問

各学校園を担当する指導主事を派遣し、各学校園の経営・研究・実践等に関する指導・助言の充実に努めた。

(3) 現職教育

教師としての専門性を高め、その資質・指導力の向上を図るために、次のような研修会を実施した。

ア 管理職研修会

回	月日	場 所	研 修 内 容	講 師 等
1	4/12	市役所東館 7階 研修室1・2	令和5年度(2023年度)西宮教育推進の方向について	市長、教育長、教育次長 教育委員会参与、各部長
2	8/17	市役所東館 7階 研修室1	講話「新任管理職に期待すること」	教育長

イ 教務主任会《小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校》

回	月日	場 所	研 修 内 容	講 師 等
1	4/24	オンライン	「教務主任の役割」「教育課程について」 「指導要録について」	指導主事

ウ 研究担当者会《小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校》

回	月日	場 所	研 修 内 容	講師等
1	5/17	総合教育センター	実践発表「校内研究の活性化について」	研究グループ 「校内研究」代表

エ 進路担当者会《中学校・義務教育学校（後期課程）》

回	月日	場 所	研 修 内 容	講師等
1	10/3	総合教育センター	奨学金制度・入学者選抜に関する基本方針と日程	指導主事

オ 教科研究委員会

回	月日	場 所	研 修 内 容	講師等
1	6/9	紙面開催	教科研究委員の業務について	

(4) 教科書採択

ア 市立小学校・中学校・義務教育学校

「西宮市立学校教科用図書採択に関する基本方針」等に定める採択方針に基づき、令和6年度に使用する小学校・中学校・義務教育学校教科用図書については、下表の教科書とする。（中学校・義務教育学校後期課程は令和5年度と同じ。）

令和6年度 使用教科書

《小学校・義務教育学校前期課程》

教科	教科書名	出版社
国語	国語	光村図書出版
書写	新編 新しい書写	東京書籍
社会	小学社会	日本文教出版
地図	楽しく学ぶ小学生の地図帳	帝国書院
算数	わくわく算数	啓林館
理科	わくわく理科	啓林館
生活	新しい生活	東京書籍
音楽	小学音楽 音楽のおくりもの	教育出版
図工	図画工作	日本文教出版
家庭	新編 新しい家庭	東京書籍
保健	新・みんなの保健	学研
英語	CROWN Jr.	三省堂
道徳	道徳 きみが いちばん ひかるとき	光村図書出版

《中学校・義務教育学校後期課程》

教科	教科書名	出版社
国語	国語	光村図書出版
書写	現代の書写	三省堂
社会	新しい社会 地理	東京書籍
〃	新しい社会 歴史	東京書籍
〃	新しい社会 公民	東京書籍
地図	中学校社会科地図	帝国書院
数学	未来へ広がる数学	啓林館
理科	未来へひろがるサイエンス	啓林館
音楽	中学生の音楽	教育芸術社
〃	中学生の器楽	教育芸術社
美術	美術	開隆堂出版
保体	中学保健体育	学研教育みらい
技家	技術・家庭（技術分野） テクノロジーに希望をのせて	開隆堂出版
〃	技術・家庭（家庭分野） 生活の土台 自立と共生	開隆堂出版
英語	NEW CROWN English Series	三省堂
道徳	新・中学生の道徳 明日への扉	学研教育みらい

イ 特別支援学級

児童生徒一人一人の実態に応じ、より適した教科書を使えるようにするため、検定本の下学年本や文部科学省著作本、及び学校教育法附則第9条の規定による教科用図書（一般図書）の中から慎重かつ公正に選定し採択した。

ウ 市立高等学校及び、市立特別支援学校

「西宮市立学校教科用図書の採択に関する基本方針」等に定める採択方針に基づき、自校の教育課程に最も適した教科用図書を慎重かつ公正に選定し採択した。

2 基礎学力向上事業（220203）

(1) 学びの指導員事業

小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校 61校に1回4時間を基本として年間240時間（60回）学びの指導員を配置した。ICT機器を活用した授業の支援、学習課題の作成、各教科等学習指導補助、放課後学習補助、別室における個別指導の補助等を実施。一人一人へのきめ細かな学習支援を行い、基礎学力の向上と子供の自主的な学習をサポートした。

(2) ESD（持続発展教育）の推進

自然体験活動や防災教育等を実施（中学校及び義務教育学校後期課程）した。ESDの推進を目的として、自然・社会・文化に係る体験活動や防災教育の推進に係る体験活動を目的に20校中6校で実施し、自然体験等の活動をした。

利用施設等：しあわせの村、人と防災未来センター、東遊園地、万博記念公園、海遊館

(3) 森林での環境体験教育事業

森林環境譲与税を活用し、小学校・義務教育学校前期課程・特別支援学校の低学年児童を対象に、豊かな心や自然愛護に向かう態度を育むよう、森林の中での自然体験活動を通して環境教育を実施した。

3 学校体育推進事業（220602）

運動や健康・安全についての理解と運動の経験や実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進や体力の向上を図ることに取り組んだ。

そのために、学校教育活動全体の中に体育・スポーツ活動を位置付け、体を動かすことの楽しさや心地よさを味わわせるとともに、自己の体力の向上を図り、仲間とともに運動することの「楽しさ」や「喜び」、そして、課題を克服したときの「達成感」などを体験させることを大切にした。

あわせて家庭、地域との連携を図り、生涯にわたって体育・スポーツに親しみ、健康・安全で豊かな生活を営むための基礎づくり・習慣づくりに取り組み、推進した。

(1) 体育事業等の推進

ア 研修事業の推進

(ア) 体育担当者研修会の開催

回	月日	研修会	内容	講師
1	4/17	体育担当者研修会 (小・義・特)	推進の方向について 年間指導計画の作成について	指導主事
2	4/26	体育担当者研修会 (中・義・高)	推進の方向について 年間指導計画の作成について	指導主事

(イ) 各種実技研修会の開催

月日	研修会	内容	講師
5/15	保健体育科教員実技研修会 (中・義・高)	ソフトテニスの基本的技術の習得とラリーの継続を目指した授業づくりについて	公立中学校教諭 4人
6/7	保健体育科教員実技研修会 (中・義)	組立体操の安全な指導について	公立中学校教諭 2人
6/21	地区別体育実技研修会 (小・義・特)	補助倒立の指導について 体づくり運動 ボール運動等	公立小学校教員 11人
8/2	保健体育科教員実技研修会 (中・義・高)	創作ダンスを体感する～生徒とともに楽しく学ぶ授業づくりをめざして～	武庫川女子大学附属中学校・高等学校教諭 山中 寿美
8/22	体育担当者会 (小・義・特)	児童の体力向上を目指した楽しい授業づくりと指導について	NOBY T&F CLUB コーチ 中村 友梨香

イ 特色ある体力づくりの推進

児童生徒新体力テスト調査のまとめ

ウ 体育委託事業の実施・各種大会等への支援

(ア) 連合体育大会の開催

a 第 62 回小学校連合体育大会 (11/8) 阪神甲子園球場

b 第 67 回中学校連合体育大会 (11/9) 阪神甲子園球場

(イ) 小学校スポーツ交流会の開催

第 50 回小学生陸上競技大会 (6/4)

(ウ) 中学校・高等学校各種大会への支援

a 中学校総合体育大会

第 43 回西宮 (6/24～) ・ 第 67 回阪神 (7/15～)

第 67 回兵庫県 (7/22～) ・ 第 72 回近畿 (8/5～) ・ 令和 5 年度全国 (8/17～)

b 中学校新人大会 (9/2～)

c 高等学校総合体育大会

令和 5 年度全国 (7/22～)

d 第 76 回西宮市民体育大会 (4/15～)

(エ) 部活動推進事業の実施

(オ) 西宮市学校体育連盟に対する助成

a 研究授業 総合講座「バスケットボール」(11/14)

授業者：杉山 俊之(西宮高等学校)

b 実技研修会 「タッチフットボール」(1/25)

講師：平尾 剛(神戸親和大学教授)

c 優秀監督表彰 22 人

エ 部活動指導員の配置

中学校及び義務教育学校 11 校に部活動指導員(会計年度任用職員)を配置した。

(2) 運動能力調査

ア 調査実態（令和5年12月集約）

区 分	学校数	在籍児童・生徒数	調査人員	実施率（%）
小学校・義務教育学校前期課程	41	26,247	22,459	85.6
中学校・義務教育学校後期課程	20	10,834	8,935	82.5
高等学校	2	1,746	1,630	93.4

イ 調査結果の概要

令和5年度の県平均、西宮平均の比較

(ア) 兵庫県平均を下回る項目（全96項目中）は、男子は50項目、女子は47項目であった。

(イ) 小学校では、48項目中、男子31項目、女子36項目で下回っている。

(ウ) 中学校では、男女ともに上体起こしで、3学年が県の平均を上回っている。

(エ) 高等学校では、男女ともに上体起こし、長座体前屈、持久走、50m走で3学年が県の平均を上回っている。

(3) 部活動実態調査（所属生徒数）

ア 中学校（令和5年5月集約）

性別	学年	在籍数	所属数		所属の割合（%）	
			運動部	文化部	運動部	文化部
男	1	1,940	1,317	255	67.9	13.1
	2	1,826	1,287	234	70.5	12.8
	3	1,952	1,403	251	71.9	12.9
	小計	5,718	4,747		83.0	
女	1	1,740	969	597	55.7	34.3
	2	1,735	918	627	52.4	35.8
	3	1,690	872	654	51.6	38.7
	小計	5,165	4,637		89.8	
合計	10,883	9,384		86.2		

イ 高等学校（令和5年5月集約）

性別	学年	在籍数	所属数		所属の割合（%）	
			運動部	文化部	運動部	文化部
男	1	307	253	36	82.4	11.7
	2	289	216	60	74.7	20.8
	3	302	209	32	69.2	10.6
	小計	898	806		89.8	
女	1	294	175	104	59.5	35.3
	2	310	200	128	64.5	41.3
	3	288	151	112	52.4	38.9
	小計	892	870		97.5	
合計	1,790	1,676		93.6		

※ 所属数については延べ数。

4 小学校体験活動事業 (220603)

(1) 自然学校推進事業（小学校及び義務教育学校前期課程）の推進

学習の場を教室から豊かな自然の中へ移し、人や自然とのふれあいを通して、心身ともに健康な児童の育成を図ることを目的に、全小学校及び義務教育学校前期課程（41校）で実施した。市内の5年生4,299人が4泊5日の自然体験を実施した。

利用施設（宿泊）：西宮市立山東自然の家 37校、国立淡路青少年交流の家 3校、南但馬自然学校 1校

(2) 環境体験事業（小学校及び義務教育学校前期課程）の推進

人間形成の基礎が培われる時期に、生命の営みやつながり、命の大切さを学ぶため、自然に触れ合う体験型環境学習を、全小学校及び義務教育学校前期課程（41校）で年間3回以上の計画を立て、実施した。市内の3年生4,296人が環境学習を行った。

5 学校人権教育事業 (220604)

(1) 人権教育研修の開催

ア 人権教育担当者会（年2回開催）

第1回 …… 担当者研修

「性の多様性に関する取組」 講師：男女共同参画推進課 係長 松井 裕行

「性の多様性と性的マイノリティが抱える困難」 講師：Q-Losik よっさん

第2回 …… 担当者研修

「人権が尊重される社会のために ～ハンセン病問題から学ぶ～」

講師：長島愛生園歴史館 主任学芸員 田村 朋久

イ 人権教育地区別研修会（年4回開催）

7地区に分かれて開催。地区ごとに担当者会や公開保育・授業、講演会を実施。

地区	幼稚園	小学校	中学校	特・高・義
浜脇	浜脇・南甲子園	浜脇・香櫨園・津門・今津・用海・南甲子園	浜脇・今津・真砂	西宮浜
大社	夙川・越木岩・大社	安井・夙川・北夙川・苦楽園・大社・神原・甲陽園	大社・苦楽園	
広田	付属あおぞら・上ヶ原	広田・平木・上ヶ原南・瓦木・深津	上ヶ原・平木・深津	西宮
甲東	門戸・高木	甲東・段上・段上西・樋ノ口・高木・高木北・瓦林・上ヶ原	甲陵・甲武・瓦木	
上甲	春風	上甲子園・春風・鳴尾北・小松	上甲子園・学文	西宮支援
鳴尾	鳴尾東	鳴尾・甲子園浜・高須・高須西・鳴尾東	鳴尾・浜甲子園・鳴尾南・高須	西宮東
北	山口・生瀬	山口・北六甲台・名塩・東山台・生瀬	山口・塩瀬	
計	13	40	19	4

(2) 人権教育推進計画・実践報告・人権学習指導計画の作成

兵庫県人権教育基本方針の4つの内容に沿って推進計画を立てた。年度末には各校園で実施状況を振り返り、取組み及び成果と課題をまとめた。また、各校において、全教育活動を通じた人権教育を行う中で、全教科・全領域にわたる人権学習を系統立てて推進していくために人権学習指導計画を作成した。

(3) 人権教育振興のための施策の実施

ア 人権教育指導員の配置

7地区に各1人の人権教育指導員を委嘱し、地区別研修会の企画・運営、指導助言に当たった。

イ 「人権教育地区別研修会のあゆみ」の作成

人権教育充実のため、各地区別人権教育研修会の実施状況、研修内容等を取りまとめて製本し、研修成果の積み上げを図った。

ウ 多様な人権課題への対応（児童生徒支援教員配置校）

児童生徒一人一人の状況を踏まえた、学習指導・生徒指導・進路指導の充実に関わる支援に努めた。また年3回、児童生徒支援教員の研修を開催し、意見交流、実践交流を通して支援の充実を図った。

(4) 啓発活動の推進

学校園・各種団体への指導助言

- ・ 学校園の人権教育・人権学習への指導助言
- ・ 保護者や地域啓発のための指導助言
- ・ 人権研修での講話・指導助言
- ・ 地域学習講座、西同協地区別委員懇談会等の講話

(5) 日本語指導を必要とする子供たちへの支援

ア 生活・学習相談員の配置（総配置時間 6,599 時間 ※教育相談への配置を含む）

学校	言語	合計
安井小	中国	280
〃	中国	280
苦楽園小	中国	176
広田小	中国	280
平木小	英語	64
〃	中国	2
上ヶ原小	英語	120
段上西小	英語	204
瓦木小	中国	232
深津小	中国	152
〃	英語	120
上甲子園小	英語・スペイン語	104
今津小	英語(ネパール)	112
鳴尾小	英語	88
高須西小	タガログ	176
〃	タガログ	120
〃	中国	140
〃	中国	40
〃	中国	140
〃	スペイン	280
〃	スペイン	48
〃	スペイン	48
〃	スペイン	80
〃	ベトナム	140

学校	言語	合計
南甲子園小	中国	232
〃	英語	280
〃	英語	120
〃	英語	2
甲子園浜小	中国	232
高須小	ベトナム	176
〃	中国	2
〃	ベトナム	2
鳴尾東小	英語	2
鳴尾北小	英語	48
小松小	中国	1
北六甲台小	中国	280
〃	英語	120
〃	中国	2
浜脇中	ネパール	100
苦楽園中	英語	80
〃	英語	80
平木中	英語(ネパール)	72
〃	英語(ネパール)	2
〃	中国	2
〃	中国	2
真砂中	英語(ネパール)	232
鳴尾中	ヒンディー語	40
鳴尾南中	中国	132

学校	言語	合計
〃	ポルトガル	140
〃	ポルトガル	176

学校	言語	合計
高須中	スペイン	132
〃	スペイン	204
学文中	英語	280

イ 日本語教室開設 21校（実施延べ回数 881回）

参加者（日本語指導が必要な児童生徒）：小学校 30人、中学校 9人

開設場所：高須西小学校、瓦木小学校、安井小学校、甲子園浜小学校、浜脇小学校、広田小学校、鳴尾小学校、大社小学校、深津小学校、北六甲台小学校、高須小学校、夙川小学校、南甲子園小学校、浜脇中学校、高須中学校、鳴尾南中学校、深津中学校、真砂中学校、平木中学校、学文中学校、大社中学校

各校に教室を開設して、日本語指導を必要とする帰国・外国人児童生徒を対象に、個に応じた日本語指導を毎週1回実施（指導者：西宮日本語ボランティアの会）

ウ 「西宮の国際教育」発行

エ 体験入学の受入 25校 79人

オ 日本語指導を必要とする児童生徒等の実態把握と調査・研究及び日常の電話等による相談活動

6 国際教育事業（220608）

(1) 国際教育の推進

本市の国際教育は、「国際社会の一員として自己を確立し、主体的に行動できる子供の育成」を目指している。国際教育担当者会・研修会の開催や、他の事業を通して国際教育の推進に取り組んでいる。令和3年度より、担当者会・研修会をオンデマンド型で実施している。

(2) 外国語教育の充実と外国人外国語指導助手の活用

ア 「中学生英語ワークショップ」の実施

当該事業は市立中学校2年生を対象をしぼり、令和元年度までは夏季休業中の5日間、総合教育センターで英語の集中講座を行ってきた。令和2年度、3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止していたが、令和4年度以降は期間を3日間に縮小して開催している。令和5年度は、招聘外国人英語指導助手2人と業者派遣の外国人英語指導助手4人、研究グループ「英語・外国語」研究員の英語科教員5人が講師となり、ティームティーチングや外国人英語指導助手を中心とした個別指導等により内容の充実を図った。また、研究グループ「英語・外国語」研究員の小学校教員6人にも、サポート役として参加を広げ、小中連携につなげた。

イ 英語教育の充実

英語教育充実のため市内小学校40校、中学校19校、義務教育学校1校、特別支援学校1校と市立高等学校2校に外国人英語指導助手を配置し、英語による実践的コミュニケーション能力の育成を目指した。

(ア) 招聘外国人英語指導助手 2人（ワシントン州立大学、姉妹都市スポークン市から派遣）

義務教育学校、特別支援学校配置 1人

中学校配置 1人

(イ) 在日外国人英語指導助手 2人

高等学校配置 2人

(ウ) 業者派遣外国人英語指導助手 15人

小学校配置 7人

中学校配置 7人

高等学校配置 1人

ウ 小学校外国語の推進

全小学校に外国人英語指導助手を配置した。また、令和3年度より配置期間をこれまでの前期・後期の配置から2箇月ごとの通年配置に変更し、教員の授業及び子供たちの学習を継続的にサポートできるようにした。

エ 中国語教育の推進

市立西宮高等学校において選択授業として中国語講座を開設し、外国語教育の選択の幅を広げている。

外国人中国語指導教員 1人

(3) ワシントン州立大学 (WSU) 教育学部との教育交流

ア WSU 語学講座受講のため教員派遣

このプログラムの目的は、ワシントン州立大学で開催される語学研修講座等の受講や教科等の研修により、語学力の向上、英語教育の推進に寄与することである。近年は小学校教諭1人を派遣し、教科指導に関するテーマに基づいて個々の研修を深めるとともに、現地の公立学校を訪問し友好交流及び現地教育事情を視察することで異文化交流を深めてきたが、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、派遣を中止している。

イ WSU 教育交流セミナー

このセミナーの目的は、米国と日本という教育制度や社会的背景が異なるが、同じ教育に携わる者としてより良い教育についての意見交流をすることである。3年ごとに米国と日本で交互開催となっており、令和3年度に米国で開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止となり、翌年度に延期したが、令和5年度も同様の理由で開催中止となった。

(4) 国際交流活動

ア 生徒の海外派遣

例年、夏季休業中に実施している中学生米国スポークン市生活体験派遣事業は、YMCAのキャンプ参加とホームステイ体験を主眼としており、各中学校から3年生の代表を1人、総計20人を派遣していたが、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、派遣を中止している。

また、例年行っているニュージーランドでの市立高等学校海外語学研修についても、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、派遣を中止していたが、令和5年度より派遣を再開した。

イ 姉妹校交流の推進

現在小学校10校、中学校8校、高等学校2校、義務教育学校1校が米国ワシントン州スポークン市及びプルマン市の学校と、小学校1校、中学校2校が中国紹興市及び韓国ソウル市の学校と姉妹(友好)校提携を結んでいる。提携している小学校の中には、国際教育担当者や外国語担当教員を中心に、武庫川女子大学の留学生を通して児童作品の交換等の交流を行っている学校がある。また、小学校5、6年生の外国語科の授業に位置付けて、ICTを活用した英語によるオンライン交流を行っている学校もある。

7 トライやる・ウィーク推進事業 (220606)

豊かな感性や創造性などを自ら高め、自分なりの生き方を見つけたり、共に生きる心や感謝の心を育んだり、自立性を高めるなど「生きる力」を育むことを目指し、中学2年生が地域や自然の中でボランティアの支援を受けながら様々な体験活動を実施した。

実施期間は、原則として1週間の実施となった。

(1) 実施校

西宮市立の全中学校 19 校と義務教育学校 1 校、特別支援学校 1 校

(2) 実施状況

参加生徒数	班の数（延べ）	活動場所の数	指導ボランティア（延べ）
3,442	1,450	1,339	1,622

(3) 活動内容

活 動 内 容	割合 (%)
①農林水産体験活動	0.4
②職場体験活動	83.1
③文化・芸術 創作体験活動	1.0
④地域・郷土 芸能活動	0.9
⑤福祉体験活動・ボランティア	10.9
⑥国際理解	0.1
⑦科学技術	0.1
⑧環境	0.6
⑨情報	0.4
⑩その他	2.5

8 学校へのサポート

子供たちの主体的な学習、基礎・基本の確実な定着、「総合的な学習の時間」における創意工夫ある実践、地域の社会的教育力の活用などを重視した各学校園の特色ある取組みを支援するものとして、次の4つの事業を行った。

(1) 学習情報 -いずみ（情報資源の提供）

市内学校園の教員がアクセス可能な情報データベースとして学習情報「いずみ」を整備している。「いずみ」は教育委員会各課が所管する事業ごとに分類され、検索しやすい階層構造が整えられている。

収録された情報は、授業で児童生徒が利用できる学習資料の他、教師が授業の際に役立てることができる指導資料、研究推進計画や学習評価、進路指導に関する資料等、学校運営に必要な情報も蓄積されている。従来紙媒体で配布されていた発行物が令和3年度から「いずみ」で電子掲載されるなど、活用の幅が広がりつつある。

(2) 研究推進サポート -みがき（指導力の向上）

幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校を対象に、希望する学校園を研究指定校とし、研究会の指導助言、研究資料の購入や先進校訪問、講師招聘等、指導力の向上及び各校の研究推進をサポートした。

ア 令和5年度西宮市教育委員会研究推進指定校園一覧

No.	学校名	年次	教科等	研究テーマ等	月日
1	夙川小	2/3	全教科・全領域	主体的・対話的で深い学びを生む授業づくり ～「?」、「!」のある授業～	-
2	大社小	1/3	全教科・全領域	主体的に学びに向かい、表現できる児童の育成 ～積極的に対話する場を組み込んだ授業～	-
3	神原小	3/3	全教科・全領域	誰もがわかる・できる授業の創造 ～聴き合える児童の育成～	11/1

No.	学校名	年次	教科等	研究テーマ等	月日
4	上ヶ原小	3/3	全教科	授業のねらい達成に向けた ICT の効果的活用研究 ～楽しみながら学びに向かう子ども～	11/17
5	高木小	1/3	全教科・全領域	聴き合い、学び合う子の育成 ～学びを深める足場かけ～	-
6	高木北小	2/3	全教科	学校の学びを問い直す ～学びを「私」に引き寄せる子どもたち～	-
7	今津小	3/3	国語科	仲間と共に創る主体的な学び ～学びをつなぐ授業作り～	-
8	南甲子園小	3/3	全教科・全領域	自ら考え、行動する主体的な学び手の育成 ～「きくこと」を大切にした学級づくり・授業づくりを通して～	2/9
9	小松小	3/3	国語科	学びに向かう力の育成 ～『～したい』を引き出す単元デザイン～	1/31
10	山口小	3/3	全教科・全領域	子ども主役の授業づくり ～豊かな言語活動を通して～	1/25
11	深津中	3/3	全教科・全領域	子どもが主役、主体性をもって学習する自立した生徒の育成 ～自ら学ぶ集団作りをめざして～	10/6
12	高須中	1/3	全教科・全領域	個別最適な学びと協働的な学びを融合した授業づくり ～誰一人とり残すことのない「一人ひとりの多様な幸せ」の実現へ～	-
13	西宮支援	3/3	自立活動・各教科	実態把握を生かした子どもが輝く授業づくり ～主体的、対話的で、深い学びを支える、ICT 機器等を活用した個別最適な学びの実現～	2/2

※ 「年次」は、研究指定期間のうち何年目であることを示す。

※ 「月日」は、研究指定期間に 1 回設定する研究発表日を示す。

イ 令和 5 年度小中一貫教育モデル校

No.	学校名	年次	教科等	研究テーマ等	月日
1	西宮浜義務教育	4/4	全教科・全領域	よりよい未来を切り拓く児童・生徒の育成 ～児童生徒の「思考」に焦点をあてて～	1/26

※ 「年次」は、研究指定期間のうち何年目であることを示す。

※ 「月日」は、研究指定期間に 1 回設定する研究発表日を示す。

ウ 令和 5 年度実践協力園（指定期間は単年度とする）

No.	園名	教科等	研究テーマ等
1	浜脇幼	人間関係・言葉	人とつながる楽しさを感じながら、意欲的に遊ぶ子供の育成
2	夙川幼	人間関係	友達と思いを出し合いながら意欲的に遊ぶ子供の育成
3	越木岩幼	環境・健康	身近な環境に主体的に関わり、友達と意欲的に遊びを創り出す子供の育成 ～全身で遊びに没頭する楽しさを味わうために～

No.	園名	教科等	研究テーマ等
4	あおぞら幼	言葉・人間関係	言葉による伝え合いを楽しむ子供の育成
5	高木幼	人間関係・環境	自分の思いを出し、友達と意欲的に遊ぶ子供の育成
6	春風幼	「人間関係」を中心とした全領域	一人一人が輝く保育の創造 ～心を動かし、人とつながる楽しさを感じる子供をめざして～

エ 令和5年度その他の研究等指定
 <道徳教育の充実推進モデル校>

No.	学校名	研究課題
1	夙川小	特に、特別の教科・道徳の学習活動において自己を見つめ、物事を（広い視野から）多面的・多角的に考え、自己の（人間としての）生き方についての考えを深めるために、「考え、議論する道徳」の実現を目指す。
2	苦楽園小	
3	苦楽園中	
4	山口中	

<外国語教育の充実推進モデル校>

No.	学校名	研究課題
1	安井小	グローバル化が急速に進展する中で求められる力である外国語を用いての他者とのコミュニケーションの基盤の形成を図る。
2	夙川小	
3	大社小	
4	南甲子園小	
5	西宮浜 義務教育	

<インクルーシブ教育システムの構築推進モデル校>

No.	学校園名	研究課題
1	大社幼	インクルーシブ教育システムの構築を目指し、通常の学級、特別支援学級、通級による指導及び特別支援学校において、教育課程全体を通じた特別支援教育の充実を図る。
2	鳴尾東幼	
3	夙川小	
4	段上西小	
5	南甲子園小	
6	甲子園浜小	
7	甲陵中	

<ICT活用推進モデル校>

No.	学校園名	研究課題
1	夙川小	ICT 機器環境を有効活用した学習指導の充実を図る。
2	大社小	
3	南甲子園小	
4	甲子園浜小	
5	鳴尾東小	
6	鳴尾北小	
7	北六甲台小	
8	西宮浜 義務教育	
9	苦楽園中	
10	鳴尾南中	
11	山口中	
12	西宮高	

<指導力向上に係る教員研修プログラム開発推進校>

No.	学校名	研究課題
1	西宮高	他の教育機関等と連携した教員研修プログラムを構築し、計画的に校内研修や講座に参加することを通して、教員の指導力向上を図る。
2	西宮東高	

<高大接続改革に係る指導法等研究推進校>

No.	学校名	研究課題
1	西宮高	高大接続改革における高校教育改革で求められる「教育課程の見直し」「学習・指導方法の改善」「多面的な評価の推進」などに取り組む。

(3) 幼稚園地域ふれあい事業 -にぎわい(学校園から地域へ)

公立幼稚園が核となり、ゲームや歌、運動、伝承遊びなどのふれあい活動を地域等との共催で行うことによって、子供たちが地域社会の中で育まれることを促進する事業。令和5年度は全13園にて実施した。

園名	月日(場所)	会の名称とおもな活動内容	共催・参加者等
浜 脇	10/17 (浜脇幼)	「にぎわい交流会」 ミニ運動会	浜脇幼稚園、浜脇保育所 未就園きりん組、未就園児、 保護者
夙 川	10/17 (北夙川体育館)	「みんなで遊ぼう会」 体操・ふれあい遊び・オセロゲーム・玉入れ・ボール運び競争	越木岩幼稚園、北夙川保育所
越木岩	10/17 (北夙川体育館)	「みんなで遊ぼう会」 体操・ふれあい遊び・オセロゲーム・玉入れ・ボール運び競争	夙川幼稚園、北夙川保育所
大 社	11/24 (大社幼)	「大社幼稚園作品展」 作品展「GO!GO!でんしゃ」交流	大社青愛協、大社保育所、未就園児、 保護者、地域の方
附属あおぞら	10/23 (附属あおぞら幼)	「みんなで遊ぼう会」 体操、仲良し遊び、追いかけて玉入れ、障害物リレー、ポンポンダンス	ぞうさんクラブ、はらっば保育所、 芦原保育所、芦原むつみ保育所、 保護者
上ヶ原	10/31 (上ヶ原幼)	「にぎわいなかよし会」 サッカー遊び	甲東北保育所、サッカー協会、 保護者
門 戸	10/25 (門戸幼)	「伝承遊び」 こまであそぼう	新甲東保育園、なかよしうさぎ、 保護者
高 木	10/20 (高木幼)	「みんなであそぼう」 みんなで遊ぼう(歌をうたう、体操、手遊び、 触れ合い遊び他)	上之町保育所、つぼみの子、ママ &キッズ大森園、げんき保育園、 みらい妖精のおうち、未就園児、 保護者
春 風	11/8 (春風幼)	「にぎわい」 体操、ふれあい遊び、オセロゲーム	甲子園二葉幼稚園、つぼみ幼稚園、 津門保育所

園名	月日 (場所)	会の名称とおもな活動内容	共催・参加者等
南甲子園	7/14 (南甲子園幼)	「なつのつどい」 園児作成の出店やゲームなどのコーナー	ちどり保育所、浜甲子園2丁目保育所、にこにこ広場、学校評議員、未就園児、保護者
鳴尾東	10/23 (鳴尾東幼)	「いっしょにあそぼう会 あつまれなるおっこ」 他園児と遊びを通してかかわりをもつ	鳴尾保育所、鳴尾東保育所
山口	10/11 (山口ホール)	「みんなで遊ぼう！にぎわい集会」 歌 体操 ゲーム 袖下踊り	山口幼稚園 PTA、やまよしキッズ・ガーデン、山口町古文化保存会
生瀬	11/30 (生瀬幼)	「生瀬幼稚園作品展」 作品展「昆虫館 むしのまち」交流	生瀬小学校

9 進路指導

令和5年度の西宮市立中学校・義務教育学校の卒業生数は3,732人で、令和4年度を17人下回った。

進学については、定時制・通信制課程への進学者も含めて98.9%が進学した。

就職については2人であり、新規卒業生への企業側からの積極的な求人ほとんどなく、近年ハローワークを通じた就職もない状態が続いている。

《進学指導》

平成27年度公立入試からさらに学区が拡大され、第2学区34校（西宮市・尼崎市・宝塚市・伊丹市・川西市・猪名川町・三田市・丹波市・丹波篠山市）において複数志願選抜入試が行われた。

令和6年2月に実施された特色選抜の倍率は、実施した市内5校の平均が1.3倍（令和4年度は1.3倍）であった。複数志願選抜の倍率は、第2学区全体で1.06倍（令和4年度は1.06倍）であった。また、令和6年度に、西宮市立中学校の生徒が第2学区の他市町の公立高等学校普通科へ入学した割合は約18%で、前年度と比べ5%ほど増加した。また、市内公立高等学校普通科入学生のうち市外からの生徒の割合は約22%であり、前年度と比べ2%ほど増加した。

《就職指導等》

新規中学校卒業生の就職については、希望者はほぼ皆無である。尼崎公共職業安定所を通じた求人についても希望した者はいなかった。また、その他として「進路未定」や「在家庭」の者が卒業生全体に対して0.6%程度となっている。

《令和6年3月中学校・義務教育学校卒業生の進路状況》

進	全	国	県	旧	普通科(単位制・コース含む)					
					グローバル・サイエンス科(市立西宮)	国際文化情報学科(県立鳴尾)				
学	日	制	立	立	旧西宮学区内	1,335				
						25				
						33				
						226				
						5				
					旧西宮学区外	680				
						24				
					県外国公立					879
					私立					323
					通信制					91
					定時制					26
					高等専門学校					44
特別支援学校高等部					2					
就職					12					
各種・専修学校等					27					
その他					3,732					
合計										

10 高校教育

(1) 西宮市立高等学校パワーアップ事業の実施

新しい選抜制度の導入により、西宮市立高等学校は「選ばれる」立場となっている。市民満足度を高いものにしていくため、更に特色化・魅力化を進める取組みとして、西宮市立高等学校パワーアップ事業により探究的な学びや科学教育、キャリア教育等に関する講師の招聘、宿泊研修等を実施した。

(2) 特設講座・学校開放講座の実施

市立高等学校生が知的好奇心を高め、学習意欲や知識理解力の向上や自己の生き方と地域・社会との関わりについて深く考えるなどを通じて、市立高等学校の特色化・魅力化を推進するために大学教員等の外部講師を招き、特設講座を計 25 回実施した。また、市立高等学校の教育資源を市民に開放することによって、地域に開かれた学校としての活性化を図るとともに、地域・社会への寄与するために、市立高等学校の教職員や外部講師による市民向けの教養講座として、学校開放講座（市立西宮高等学校：松柏講座、市立西宮東高等学校：木曜講座）を計 14 回実施した。

(3) 入学者選抜実施の支援

入学者選抜制度は、平成 21 年度入学者選抜から複数志願選抜が導入され、平成 27 年度入学者選抜からは県下で 16 あった学区が 5 学区に再編され、旧西宮学区は第 2 学区（複数志願選抜実施校 34 校）に含まれることになった。県教育委員会や中学校等と密に連携を図りながら、市立高等学校における入学者選抜の円滑な実施を支援した。

(4) 高校教育改革等検討委員会の開催

学習指導要領の改訂をはじめとする高等学校教育改革、大学入学者選抜改革等を見据えつつ、スクール・ミッションを具現化するために各高等学校において策定されたスクール・ポリシーに基づき、市立高等学校の今後の方向性及び特色化の推進について検討を進めた。また、西宮高等学校の令和 5 年度より文部科学省から指定を受けている、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業の実施報告や西宮東高等学校の 2 つのコースの普通科新学科への改編等についても議論を行った。

11 防災教育

阪神・淡路大震災から 29 年が経過し、東日本大震災から 13 年を迎えた。各学校園においては震災で得た教訓をもとに、「命の大切さ」、「助け合いの大切さ」、「他を思いやる心」を育み、震災を風化させない取り組みが行われた。

防災（避難）訓練の実施については、東日本大震災の経験から、鳴尾御影線以南の学校においては津波を想定した訓練も実施しており、地域の状況に応じた危機管理や訓練に対する意識は高くなっている。

防災教育に関する実態調査より（令和 6 年 1 月現在）

区 分	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	特別支援学校	合計
防災教育の実施	40	19	1	2	1	63
児童生徒引き渡し訓練	37	1	1	0	0	39
地域と連携した防災訓練の実施	19	17	1	1	0	39
災害対応マニュアルの見直し	40	19	1	2	1	63

※ 市立小学校 40 校、中学校 19 校、義務教育学校 1 校、高等学校 2 校、特別支援学校 1 校

第3節 特別支援教育

1 特別支援教育事業 (220401)

インクルーシブ教育システム構築のため、自立と社会参加を見据えた個の教育的ニーズに対する学校の取組みについて、適切な支援体制の確立に努めた。また、交流及び共同学習等を通じて、相互理解・啓発の推進に努めるとともに、西宮支援学校の通学体制の構築、センター的機能の充実等に向けた事業を推進した。

(1) 学習指導の充実

一人一人の教育的ニーズや障害の状態についての確に把握し、生活の向上や学習の充実に努めた。また、「自立活動」と教科等との関連性を重視しながら、指導内容や指導方法の工夫と改善を図った。

個別の教育支援計画や指導計画を作成し、学習指導や学級経営等に反映させるとともに、切れ目のない一貫した支援につなげた。

(2) 就学相談の充実

ア 教育的配慮を要する子供の適切な就学を推進するため、校内委員会の組織的・計画的運営に努めた。

イ 就学支援委員会の実施回数 7回

ウ 実施人数

幼稚園就園対象幼児 58人

小学校就学対象児童 230人

中学校就学対象生徒 138人

途中入級対象児童生徒 144人

計 570人

(3) 特別支援教育推進事業の助成と委託事業

ア 西宮支援学校の通学体制整備（西宮支援学校通学バス・タクシーの業務委託等）

イ 西宮支援学校の自立活動実技研修会への助成

ウ 西宮市特別支援教育研究協議会が実施する事業への支援

「第40回手をつなぐ子らの作品展」の開催（オンライン会議アプリを活用）

エ 学校生活適応のための援助（特別支援教育支援員・看護師・介助支援員・保育支援員・学校協力員の配置）

(4) 特別支援教育の研修の充実（主催：地域・学校支援課 特別支援教育課と連携して実施）

ア 特別支援教育コーディネーター研修 3回計画（3回実施）

イ 特別支援学級担任研修（障害種別ごと） 6回計画（6回実施）

ウ 特別支援教育支援員研修 3回計画（3回実施）

エ 保育支援員研修会 2回計画（2回実施）

オ 介助支援員研修会 2回計画（2回実施）

カ 情報保障研修 1回計画（1回実施）

キ 特別支援教育に係る情報化研修 1回計画（1回実施）

ク 学校生活支援教員研修 6回計画（6回実施）

ケ 特別支援教育コーディネータースキルアップ研修 8回計画（8回実施）

コ 看護師研修 1回計画（1回実施）

(5) 西宮市特別支援教育審議会の開催

平成 29 年度、本市が進めようとする特別支援教育に関する施策が適切なものであるかを調査及び審議するため、学識経験者や医療関係者、保護者、教育関係者により、特別支援教育審議会（市の附属機関）を設置した。令和 5 年度は 1 回開催し、幼稚園における基礎的環境整備、小学校・中学校・義務教育学校における基礎的環境整備、西宮支援学校の通学及び校内支援体制について、教職員の専門性の向上について、交流及び共同学習の推進について、医療・福祉との連携について進捗状況を報告し、審議を行った。

(6) 西宮市立学校園における医療的ケア検討会

令和 2 年度、インクルーシブ教育システムの構築を推進する中、医療的ケア児が安心安全な学校生活を送るため、学識経験者や医療関係者、保護者、教育関係者により、学校園における医療的ケア検討会を設置した。令和 5 年度も 2 回開催し、必要な看護師の確保や医療体制整備、総合的な支援体制整備に向けて検討を重ねた。

第 4 節 学校保健安全

1 生徒指導事業（220504）

生徒指導では、一人一人の児童生徒の内面理解と人間的なふれあいに基づく指導を充実させるとともに、全ての教育活動を通して児童生徒の社会的資質や行動力が高まるように指導、援助していくことが大切である。指導に際しては、児童生徒の人権に配慮し、個に寄り添った指導を徹底するとともに、いかなる場合においても体罰は絶対に許されないことを徹底する。

学校では、一人一人の児童生徒自らが、現在及び将来における自己実現を図っていくための自己指導能力の育成を目指して、生徒指導の方針・基準の明確化・具体化を図ることが重要である。また、時代の変化に対応しながら、校種間の連続性を有する一貫した生徒指導の体制づくりや、全ての職員による組織的・計画的な取組み、地域・家庭・関係機関との連携に努めることが必要である。

個々の児童生徒には、基本的な生活習慣や体力、学習習慣や学力、児童生徒間の人間関係、児童生徒と家庭・地域との関係等の実態把握に基づいた教育相談を充実させることで、個々の課題を受け止めさせ、問題がどこにあるのか、今後どのように行動すべきかを主体的に考え行動する力を養うことが重要である。また、保護者との信頼関係を深め、指導目標や計画を明確にして、組織的・計画的に指導するとともに、必要に応じて関係機関との連携を図り、家庭や地域の協力を得ながら、迅速に対応していくことが重要である。

令和 5 年度は、指導の重点を「子供の理解を深め、目標や計画を明確にして、自己指導能力の獲得を目指す」とし、

- ① 児童生徒や社会の変化に対応した生徒指導方針のもと、それを踏まえた指導ができているか。
- ② 定期的なアンケート調査等で児童生徒の実態把握に努め、それに基づいた教育相談を実施して、共感的理解を深めながら指導ができているか。
- ③ 個々の課題を全体の課題として捉え、協働して課題解決を図るとともに、未然防止に向けた手だてを考え、取り組んでいるか。
- ④ 問題行動、不登校、虐待、いじめ等への適切かつ迅速な対応ができているか。
- ⑤ 家庭との信頼関係を深め、学校問題解決支援チームや関係機関とも連携を図っているか。
- ⑥ 校種間で積極的に交流を深めているか。
- ⑦ 個々の児童生徒に応じた指導目標や計画が明確になっているか。
- ⑧ 生徒指導の実践上の視点（自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供、安全・安心な風土の醸成）を生かした授業づくりを行い、教科指導と生徒指導の一体化を図っているか。

- ⑨ 集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築き、人間としての生き方について自覚を深め、自己を生かす能力を養うため、特別活動の充実を図っているか。
- ⑩ 児童会活動や生徒会活動が充実し、自己選択・自己決定の場となっているか。
- ⑪ 学級活動において話し合い活動を大切にし、よりよい人間関係を築く力や自治的能力等を育てているか。
- ⑫ 児童生徒一人一人に自分や他者を大事に思う気持ちを持たせ、いじめや暴力のない、みんなが居心地のよい学級・学校づくりをしているか。
- ⑬ 「社会で許されない行為は、学校においても許されない」など、社会のルールやマナーを身につけさせているか。
- ⑭ 不登校生の評価について、できる限り多くの評価資料を集め、適切な評価活動を行うことに努めているか。
- ⑮ 「いじめは、どの学校でも、どの子供にも起こり得る」と認識し、学校いじめ防止基本方針のもと、いじめの未然防止や早期発見に努め、いじめ対応委員会の組織を中心に問題を共有して組織的に取り組んでいるか。

といった評価の観点に基づき、指導の充実を図った。

また、以上のことに重点をおきながら、次のような具体的施策を推進した。

(1) 生徒指導に関する指導・助言

- ア 生徒指導主任（担当者）研修を通じた指導・助言
- イ 生徒指導に関する基本的事項、専門的事項についての助言
- ウ 児童生徒の適応指導についての助言
- エ 校内生徒指導研修会に対する指導・助言

(2) 生徒指導活動の推進

- ア 校種間の連携強化と充実
- イ 関係機関との連携と調整・協議

(3) 生徒指導に関する研究・研修の推進

- ・ 生徒指導主任（担当者）研修の実施

(4) 交通安全指導の推進

- ア 県や民間企業が実施する交通安全啓発事業の学校園への周知
- イ 交通安全教育の教職員への啓発

(5) 西宮市立学校生徒指導推進協議会の活動推進

- ア 校外生徒指導活動
- イ 研究紀要作成
- ウ 地区連絡網の見直し

(6) 生徒指導に関する協議の会

回	月日	会場	内容	講師等
1	4/14	鳴尾公民館	令和5年度生徒指導の重点とねらい及び生徒指導の推進について	指導主事
2	6/8	オンライン	令和5年度夏季休業中及び2学期初めの生徒指導について	指導主事
3	11/2	西宮市役所 東館 研修室1・2	令和5年度冬季休業中及び3学期初めの生徒指導について ※ 西宮市いじめ対応ネットワーク会議と兼ねる	指導主事
4	2/8	オンライン	令和5年度末から令和6年度初めにかけての生徒指導について	指導主事

(7) 小学校生徒指導担当者会

回	月日	会場	内容	講師等
1	5/25	オンライン	生徒指導担当者の校内での役割について いじめへの対応について	指導主事
2	8/22	総合教育センター 西宮分室 研修室	1学期の問題行動の傾向と2学期にむけて	指導主事
3	1/11	西宮市役所 東館 研修室1	2学期の問題行動の傾向と3学期にむけて	指導主事

(8) 生徒指導連絡協議会

回	月日	会場	内容	講師等
1	4/25	若竹生活文化会館	市立学校とこども家庭センターとの連絡協議会	こども家庭センター職員
2	5/9	鳴尾公民館	市立学校と警察との連絡協議会	甲子園警察署員
3	5/16	若竹生活文化会館	市立学校と警察との連絡協議会	西宮警察署員

(9) 西宮市立学校生徒指導推進協議会

ア 本部委員会

年2回開催。第1回は5月31日に開催し、令和4年度の事業報告及び令和5年度の事業計画について協議した。第2回は2月21日に開催し、令和5年度の実施事業の概要及び令和6年度の事業計画について協議した。

イ 校種別部会

(ア) 小学校部会

年間6回研究会を開催。「親和的学級風土のつくり方」を研究主題に、実践発表・事例研究・授業研究及び情報交換を行った。

(イ) 中学校部会

年間10回定例幹事会を開催し、生徒指導に関する情報交換及び方策等について協議した。また、「発達に課題がある生徒の居場所づくり」を研究主題に実践発表を中心に事例研究した。

(ウ) 高等学校部会

生徒指導についての情報交換及び協議の会を全県で2回、阪神地区3回、西宮市内3回実施し、生徒指導の充実を図った。

ウ 小中連絡会

地区	月日 及び 会場校
浜脇	真砂中 (6/1) 今津中 (6/7) 浜脇中 (5/30) 用海小 (2/16) 浜脇小 (2/20) 南甲子園小 (3/5) 津門小 (3/6)
大社	大社中 (6/2) 苦楽園中 (5/31) 北夙川小 (2/1) 甲陽園小 (2/9)
広田	上ヶ原中 (5/23、5/31) 平木中 (6/7) 深津中 (6/2) 上ヶ原南小 (1/15) 深津小 (2/21) 平木小 (3/5)
甲東	甲陵中 (6/1) 瓦木中 (6/7) 甲武中 (5/30) 段上西小 (2/1) 高木小 (2/21) 上ヶ原小 (2/27)
上甲子園	上甲子園中 (6/28) 学文中 (6/7) 鳴尾北小 (2/1) 春風小 (2/15)
鳴尾	浜甲子園中 (6/27) 高須中 (6/1) 鳴尾南中 (5/30) 鳴尾中 (5/30) 高須西小 (2/21) 高須小 (2/27) 甲子園浜小 (3/14)
北	山口中 (6/9) 塩瀬中 (5/16) 山口小 (2/19) 東山台小 (2/26)

エ 中高生徒指導連絡協議会

回	月日	会場	内容
1	11/2	西宮市役所 東館 研修室 1・2	市立中学校、義務教育学校と市立高等学校の生徒指導担当者による連絡協議会を開催し、情報交換及び生徒指導上の課題等について協議。 ※ 西宮市いじめ対応ネットワーク会議と兼ねる。

(10) 生徒会リーダー学習会

月日	会場	内容	実施校
12/26	西宮市役所 第2庁舎 B405・B406	市立中学校、義務教育学校後期課程の新生徒会役員の代表2人と、生徒会担当教諭が集まり、交流を深めるとともに、生徒会活動のあり方と、明るく充実した学校生活のあり方を考える。	市立中学校 義務教育学校後期課程 全20校

(11) スクールカウンセラー

兵庫県教育委員会のスクールカウンセラー配置事業において、拠点校方式として33校（全中学校19校、小学校13校、義務教育学校後期課程1校）に配置。県のスクールカウンセラー未配置の31校（小学校27校、義務教育学校前期課程1校、特別支援学校1校、高等学校2校）には、西宮市のスクールカウンセラーを配置。不登校やいじめの問題、学校不応等適切に対応するため、子供・保護者・教師へのカウンセリング等を実施した。

(12) 学校問題解決支援チーム

生徒指導上の諸問題は多岐にわたっており、対応が困難な事案も発生する。その解決等に向けて必要な対応を効率的かつ効果的に推進することを目的として、学校問題主任専門員、スクールサポーター、教育相談員及びスクールソーシャルワーカーを派遣し、学校園の状況に応じた支援に努めた。また、委託契約を締結した弁護士による法的根拠に基づく視点からの助言を受けることにより、問題の早期解決が図られた。さらに、平成29年度から「いじめ相談専用ダイヤル」を設置し、学校問題主任専門員を2人配置することで、いじめの早期発見、早期対応を図った。また、平成30年度から「小学校生徒指導に係る非常勤講師」を2人配置、令和元年度からスクールソーシャルワーカーを5人に増員し、学校における問題解決への支援体制の充実を図っている。

(13) いじめ防止等の対策

平成 25 年 9 月に施行された、いじめ防止対策推進法に基づき、以下の施策等を行った。

ア 教育委員会

名 称	月日	会 場	内 容
西宮市いじめ対応ネットワーク会議	11/2	西宮市役所 東館 研修室1・2	講演「スクールロイヤーが考える いじめ対応のポイント」 本郷さくら総合法律事務所 弁護士 兵庫教育大学大学院 准教授 神内 聡
西宮市いじめ防止等対策委員会 (教育委員会の附属機関)	9/28	西宮市役所 東館 研修室1	協議「いじめ防止等に関すること」
	3/7	西宮市役所 東館 研修室2	協議「いじめ防止等に関すること」

イ 学校

- (ア) 学校いじめ防止基本方針の見直し、公開
- (イ) 定期的なアンケートの実施
- (ウ) 相談体制（教育相談・相談窓口）の整備

2 校内災害対策事業 (220505)

校内災害対策事業として、学校園で発生する事故について被害者等へ補償を行っている。

学校管理下（登下校中を含む）において、児童生徒に被害が生じた事故については、主として独立行政法人日本スポーツ振興センターが運営する災害共済給付制度に加入し、事故による負傷、疾病、障害、死亡に対して、医療費、障害見舞金、死亡見舞金を支給する。

また、学校管理下（登下校中を除く）における学校業務遂行中の不注意による事故や、学校施設の瑕疵による事故等の法的責任が生じる案件については、「全国市長会」学校災害賠償補償保険に加入し、事故対応に備えている。

(1) 災害共済給付金支給件数

学校園から報告を受け、教育委員会から独立行政法人日本スポーツ振興センターに災害共済給付金請求を行い、給付金が支払われた件数は次のとおり。

区分		日本スポーツ振興センター災害共済給付	
		延給付件数	給付金額 (円)
医療費	幼稚園	27	64,970
	小学校	2,235	7,878,561
	中学校	2,013	9,988,035
	高等学校	487	6,096,428
	特別支援学校	1	3,640
	計	4,763	24,031,634
見舞金	障 害	1	880,000
	死 亡	1	15,000,000
	計	2	15,880,000

※ 小学校には義務教育学校前期課程を、中学校には義務教育学校後期課程を含む。

(2) 賠償金支払件数

学校園等から報告を受け、賠償金を支払った件数は次のとおり。

学校区分	件数	賠償額 (円)	うち、学校災害賠償補償保険からの保険金支払額 (円)
幼稚園	0	0	0
小学校	0	0	0
中学校	2	357,700	115,700
高等学校	0	0	0
特別支援学校	0	0	0
教育委員会	1	300	0
計	3	358,000	115,700

(3) 学校園（管理下外含む）から報告を要する事故発生件数

学校園から報告を要する事故発生件数は、学校管理下及び登下校中は 46 件、学校管理外は 25 件、計 71 件であった。事故のうち交通事故関係は 56 件あった。

3 学校健康診断事業 (220506)

健康診断関係の項目及び受検人数等は次のとおりで、その結果については西宮市立学校園健康診断集計冊子「発育と健康」にまとめ、事後指導の徹底を図った。

種別	項目	時期	対象	受検人員
＜児童等＞ 定期健康診断	身長・体重	4月～6月	幼児・児童・生徒全員	38,321
	視力検査	〃	〃	38,187
	聴力検査	〃	幼児・小1.2.3.5・中1.3・高1.3の全員	34,367
	内科健診（四肢の状態を含む）	4月～6月	幼児・児童・生徒全員	38,192
	眼科健診	〃	〃	36,036
	耳鼻科健診	〃	〃	35,249
	歯科健診	5月～6月	〃	37,790
結核検診	問診調査	4月～6月	小・中の全員	36,585
	胸部X線直接撮影	〃	高1の全員	605
	精密検査 ・ツベルクリン反応検査 ・胸部X線直接撮影	6月 6月～7月	小学生の該当者 小・中学生の該当者	30 18
心臓検診（1次）	心電図（4誘導）検査	4月～5月	小1・中1の全員	7,753
	心音図検査	〃	〃	7,753
	心電図（12誘導）検査	〃	高1の全員	606
	〃（2次）	該当者に必要な各種検査	特別支援学校の小1・中1	12
〃（3次）	2次→3次（専門病院）	幼・小・中・高の受検者 3次検診の受検者	395 81	
小4心臓検診（1次）	心電図（12誘導）検査	10月～12月	小4全員	4,340
	〃（3次）	1次→3次（専門病院）	精密検診の受検者	100
腎臓検診（1次）	尿検査	4月～6月	幼児・児童・生徒全員	38,415
	〃（2次）	尿精密検査、血液検査	幼・小・中・高の受検者	90
	〃（3次）	（専門病院）	精密検査の受検者	51

種 別	項 目	時 期	対 象	受検人員
脊柱検診 (1次) " (2次)	内科健診による視触診	4月～6月	幼児・児童・生徒全員	38,192
	精密検査 ・視触診 ・X線直接撮影	9月～11月	幼児・児童・生徒の受検者	295 105
<教職員> 定期健康診断	(身長・体重・腹囲、血圧、 血液、心電図、視力、眼底、 聴力、尿検査他)	7月～8月	教職員全員	2,038
	胸部X線直接撮影	4月～5月	教職員全員	2,297
	大腸検査	7月～8月	40歳以上の教職員	1,012
	胃部X線間接撮影	"	"	424
	B型肝炎検査	"	特別支援学校の教職員及び 養護教諭の希望者	34
	前立腺がん検査	"	50歳以上の男性教職員の希 望者	162
<就学时健康診断>	医学検診、面接他	10月～3月	令和6年度小学校入学予定者	3,790

※ 小学校には義務教育学校前期課程を、中学校には義務教育学校後期課程を含む。

4 学校保健管理事業 (220507)

社会環境や生活環境の急激な変化は、心身の健康に大きな影響を与えている。児童生徒の健康問題は多様化・複雑化しており、また、学校では感染症の流行や予測が困難な事故が発生する状況もあるため、児童生徒の命を守るためにも、保健管理の充実を図ってきた。そして、これらの状況に的確に対応し、児童生徒が生涯にわたって心身ともに健康で安全な生活をおくるために、健康問題を積極的に解決する能力や態度を育てることを重要課題として、学校保健を推進した。

(1) 学校感染症対策

新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日をもって5類感染症へ移行したことにより、令和2年度から続いた感染症対策に一つの節目を迎えた。学校園では、文部科学省の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル(2023.5.8～)」に基づき、換気や手洗いといった基本的な感染症対策は講じながら、通常の学校生活を取り戻していった。一方で、令和5年度は季節を問わずインフルエンザ等の流行が見られ、教育活動へ影響を及ぼすこととなった。

(2) 学校環境衛生対策

西宮市薬剤師会等に委託して、次の定期検査を実施した。

ア 学校園飲料水水質検査

イ 学校プール水質検査(総トリハロメタン以外)

ウ 学校プール水質検査(総トリハロメタン) ※ 隔年、幼稚園は対象外

エ 学校給食調理室等衛生検査 ※ 幼稚園は対象外

オ 学校園教室内空気検査(ホルムアルデヒド以外)

カ 学校園教室内空気検査(ホルムアルデヒド) ※ 隔年

キ 学校園保健室等ダニ検査

※ 学校プール水質検査(総トリハロメタン)は、中学校、義務教育学校(東校舎)、高等学校の計22校を対象に実施した。

※ 学校園教室内空気検査(ホルムアルデヒド)は、小学校、義務教育学校(西校舎)、特別支援学校の計42校を対象に実施した。

(3) 精神保健推進協議会の活動

震災、事件・事故の「心のケア」、不登校、特別支援に絡む事例等、全教職員が子供理解を深め、教育の中でより適切な関わりができるよう、学校精神保健を推進していくことが求められている。

令和5年度は、実施を希望した37校園(76校園中)で定期コンサルテーションを実施した。

<ケース・コンサルテーションの実施>

小学校	14校(14回)	
中学校	15校(15回)	
高等学校	2校(2回)	
義務教育学校	1校(1回)	
特別支援学校	0校(0回)	
幼稚園	5園(5回)	計37回

(4) 学校病治療対策費

定期健康診断等の結果、学校保健安全法施行令第8条に定める疾病を治療するための医療に要する費用を小学校・中学校・義務教育学校の要保護・準要保護児童生徒延1人に対し、2,770円給付した。

(5) 学校保健研修関係行事

月日	名称	場所	内容
4/7	新任・転任学校保健実務説明会	教育委員会 会議室	「令和5年度養護教諭の実務について」
4/13	学校保健研修会 (管理職研修会)	総合教育センター 研修室1・動画配信	「学校におけるアレルギー対応について」 岡藤 郁夫
4/20	学校保健担当者研修会 学校精神保健推進委員研修会	動画配信	「学校精神保健の実践について-27年間の経験の中で-」 藤原 昌子
7/13	養護教諭研修会	総合教育センター 研修室1	研究発表「誰もが緊急時に対応できる組織を目指して-養護教諭不在時の体制に着目して-」近畿養護教諭研究協議会発表グループ
7/24	新任1・2年次、15・16年次 養護教諭研修会	市役所東館7階 701会議室	「養護教諭として押さえておきたい緊急時の対応」
7/27	6年次、10・11年次 養護教諭研修会	教育委員会 会議室	「学校事故への対応」～三段階の危機管理を考える～
8/4	健康教育研修会	動画配信	「健康で安全な生活が主体的に実践できる子供の育成をねらって」
10/23	新任1・2年次養護教諭 研修会	総合教育センター 研修室2	「感染症対策に関する実践的な内容について」
11/30	学校歯科保健研修会	総合教育センター 研修室1	「口腔外傷について」 岡本 篤剛
1/30	新任1・2年次養護教諭研修会	総合教育センター 研修室2	「校外活動における養護教諭の役割について」
2/26	養護教諭研修会	総合教育センター 研修室1・2	「1型糖尿病への理解」 落合 智美
3/13	令和6年度学校保健実務説明会	総合教育センター 研修室1	「令和6年度養護教諭の実務について」

(6) 教科等研究会に対する助言

学校保健関係職員が行っている実践的研究を積極的に助言した。

- ・ 幼教研健やかな心と体部会
- ・ 小教研学校保健部会
- ・ 中教研養護教諭部会
- ・ 養護教諭研究協議会

(7) 西宮市学校保健会の活動

ア 研究助成

(ア) 研究指定校 上甲子園中学校・西宮東高等学校

(イ) 研究団体

西宮市立学校園養護教諭研究協議会

西宮市学校保健担当者会

(ウ) 学校保健及び学校安全の推進事業

合計 6 団体： 香櫨園小学校、夙川小学校、高須西小学校、浜甲子園中学校、高須中学校、
越木岩幼稚園

イ 第 68 回西宮市学校保健研究大会

月 日 令和 6 年 2 月 15 日 (木)

オンデマンド配信：令和 6 年 3 月 4 日 (月) ～3 月 12 日 (火)

場 所 西宮市甲東ホール アプリ甲東 4 階

主 題 「生涯をたくましく生きぬく子どもの育成をめざして」

表 彰 ・ 西宮市学校保健功労者表彰

・ 兵庫県教育長・学校保健会長表彰受賞者へ市長感謝状

講 演 会 テーマ 「不登校の理解と支援」

講 師 社会医療法人恵風会 高岡病院児童精神科医 三木 崇弘

5 教育支援センター整備事業 (220512)

市立鳴尾北幼稚園休園施設で「あすなろ なるおきた」、市立瓦木幼稚園休園施設で「あすなろ かわらぎ」の活動をしている。施設の老朽化に伴い、水道設備改修工事が必要となったため、市立瓦木幼稚園休園施設の水道設備改修工事を実施した。

6 不登校児童生徒支援事業 (220511)

不登校児童生徒やその保護者に安心感を与え、親しみやすい居場所となるよう、令和 5 年 4 月 1 日から教育支援センター「あすなろ」として活動内容等をリニューアルした。また、家に引きこもりがちな児童生徒と「つながる」ことに重点を置いたオンライン支援を実施した。

各学校への不登校対策支援としては、派遣依頼のあった学校へ有償ボランティア(居場所サポーター)を派遣し、教室に入りづらい児童生徒をサポートルーム(別室)等で支援した。

今後不登校児童生徒は増加する見込みであり、その対策や支援体制の構築が喫緊の課題である。

(1) あすなろ なるおきた

ア 対象者 市立小学校・中学校・義務教育学校在籍の不登校児童生徒(最大 40 人程度)

イ 活動日 月～木

ウ 活動時間 9:15～14:15

エ 活動内容 教科学習、自主学習、表現活動、体験活動、スポーツ活動、交流活動

オ 利用人数 令和 5 年度 36 人(小学生 4 人、中学生 32 人)

※ 小学生には義務教育学校前期課程を、中学生には義務教育学校後期課程を含む。

- カ 支援員 4人(会計年度任用職員パートタイムA)
- キ 支援補助 学生サポーター 登録者数6人
- ク 利用手続 (ア) 事前連絡票(学校が学校保健安全課に送付)
(イ) 学校面談(学級担任等と支援員等の面談)
(ウ) 保護者面談(利用希望児童生徒及び保護者と支援員等の面談)
(エ) 体験利用(4日間程度)
(オ) 本利用(体験利用が終了した場合に可とする)
- ケ 学校との連携 (ア) 利用報告書(各月の利用状況をあすなろから学校に報告)
(イ) 担任懇談(学期に一回学級担任と支援員等の懇談)

(2) あすなろ かわらぎ

- ア 対象者 市立小学校・中学校・義務教育学校在籍の不登校児童生徒
(最大午前40人程度、午後40人程度)
- イ 活動日 月～木
- ウ 活動時間 9:30～11:30、13:00～15:00
- エ 活動内容 教科学習、自主学習、表現活動、体験活動、スポーツ活動、交流活動
- オ 利用人数 令和5年度 午前25人(小学生0人、中学生25人)
午後23人(小学生4人、中学生19人)

※ 小学生には義務教育学校前期課程を、中学生には義務教育学校後期課程を含む。

- カ 支援員 5人(会計年度任用職員パートタイムA)
- キ 支援補助 学生サポーター 登録者数14人
- ク 利用手続 (ア) 事前連絡票(学校が学校保健安全課に送付)
(イ) 学校面談(学級担任等と支援員等の面談)
(ウ) 保護者面談(利用希望児童生徒及び保護者と支援員等の面談)
(エ) 体験利用(4日間程度)
(オ) 本利用(体験利用が終了した場合に可とする)
- ケ 学校との連携 (ア) 利用報告書(各月の利用状況をあすなろから学校に報告)
(イ) 担任懇談(学期に一回学級担任と支援員等の懇談)

(3) あすなろ しおせ

- ア 対象者 市立小学校・中学校・義務教育学校在籍の不登校児童生徒(最大15人程度)
- イ 活動日 月、木
- ウ 活動時間 13:00～15:00
- エ 活動内容 自主学習、交流活動
- オ 利用人数 令和5年度 12人(小学生1人、中学生11人)

※ 小学生には義務教育学校前期課程を、中学生には義務教育学校後期課程を含む。

- カ 支援員 2人(会計年度任用職員パートタイムA)
- キ 利用手続 (ア) 事前連絡票(学校が学校保健安全課に送付)
(イ) 保護者面談(利用希望児童生徒及び保護者と支援員等の面談)
(ウ) 本利用(保護者面談を終えた日から本利用となる)
- ク 学校との連携 (ア) 利用報告書(各月の利用状況をあすなろから学校に報告)

(4) あすなろ やまぐち

- ア 対象者 市立小学校・中学校・義務教育学校在籍の不登校児童生徒(最大15人程度)
- イ 活動日 月、火、水、金
- ウ 活動時間 13:10～15:10

- エ 活動内容 教科学習、自主学習、表現活動、体験活動、スポーツ活動、交流活動
- オ 利用人数 令和5年度 1人（小学生1人、中学生0人）
※ 小学生には義務教育学校前期課程を、中学生には義務教育学校後期課程を含む。
- カ 支援員 1人（会計年度任用職員パートタイムA）
- キ 利用手続（ア）事前連絡票（学校が学校保健安全課に送付）
（イ）学校面談（学級担任等と支援員等の面談）
（ウ）保護者面談（利用希望児童生徒及び保護者と支援員等の面談）
（エ）体験利用（4日間程度）
（オ）本利用（体験利用が終了した場合に可とする）
- ク 学校との連携（ア）利用報告書（各月の利用状況をあすなろから学校に報告）
（イ）担任懇談（学期に一回学級担任と支援員等の懇談）

(5) あすなろ うえがはら

- ア 対象者 市立小学校・中学校・義務教育学校在籍の不登校児童生徒（最大15人程度）
- イ 活動日 火
- ウ 活動時間 13:00～15:00
- エ 活動内容 自主学習、交流活動
- オ 利用人数 令和5年度 1人（小学生0人、中学生1人）
※ 小学生には義務教育学校前期課程を、中学生には義務教育学校後期課程を含む。
- カ 支援員 2人（学校保健安全課 補導チーム）
- キ 利用手続（ア）事前連絡票（学校が学校保健安全課に送付）
（イ）保護者面談（利用希望児童生徒及び保護者と支援員等の面談）
（ウ）本利用（保護者面談を終えた日から本利用となる）
- ク 学校との連携（ア）利用報告書（各月の利用状況をあすなろから学校に報告）

(6) あすなろ はまわき

- ア 対象者 市立小学校・中学校・義務教育学校在籍の不登校児童生徒（最大15人程度）
- イ 活動日 金
- ウ 活動時間 13:00～15:00
- エ 活動内容 自主学習、交流活動
- オ 利用人数 令和5年度 5人（小学生0人、中学生5人）
※ 小学生には義務教育学校前期課程を、中学生には義務教育学校後期課程を含む。
- カ 支援員 2人（学校保健安全課 補導チーム）
- キ 利用手続（ア）事前連絡票（学校が学校保健安全課に送付）
（イ）保護者面談（利用希望児童生徒及び保護者と支援員等の面談）
（ウ）本利用（保護者面談を終えた日から本利用となる）
- ク 学校との連携（ア）利用報告書（各月の利用状況をあすなろから学校に報告）

(7) 不登校児童生徒を支援する公的施設、フリースクール等の民間施設との連携

- ア 教育委員会と民間施設との情報交換会開催
- イ 民間施設への訪問（5施設）

(8) 西宮市不登校対策庁内検討委員会

児童生徒の不登校について、教育委員会内で連携及び調整を図り、その対策等を検討することを目的として開催。

回※	月日	会 場	内 容
24	5/25	教育委員会会議室	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度不登校児童生徒数の分析 令和4年度 Youth 委員会からの意見・提案に対する回答 居場所サポーター事業について現況報告
25	7/31	教育委員会会議室	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度ヤングケアラー実態調査について
26	9/29	教育委員会会議室	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度第1回不登校連絡対策協議会の報告について 「あすなろ やまぐち」アウトリーチ支援報告 不登校に関する研修会報告（ヤングケアラー講演会について）
27	12/18	西宮市役所 東館研修室3	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度民間施設及びサポートルーム（別室）等の状況調査結果報告 校内支援センターの設置及びフリースクール等への補助について 不登校支援プログラムについて
28	1/23	西宮市役所 東館研修室3	<ul style="list-style-type: none"> 不登校児童生徒の支援に係る情報提供等報告 全国適応指導教室、教育支援センター等連絡協議 近畿・中国地域会議参加報告 第2回西宮市不登校対策連絡協議会報告 不登校オンラインシンポジウム参加報告 学びの多様化学校 岐阜市立草潤中学校視察報告
29	3/17	西宮市役所 東館研修室3 (不登校対策連絡協議会と同時開催)	<ul style="list-style-type: none"> 不登校支援プログラム「西宮市不登校保護者の会」開催報告 ヤングケアラー実態調査について

※ 回数は令和元年度からの通算回数。

(9) 西宮市不登校対策連絡協議会

児童生徒の不登校対策について、教育委員会が学校、保護者、地域の代表と連携及び意見交換を図ることを目的として開催。

回	月日	会 場	内 容
1	7/14	教育委員会会議室	<ul style="list-style-type: none">・令和4年度不登校児童生徒数の分析・令和4年度 Youth 委員会からの意見・提案に対する回答・居場所サポーター事業について現況報告・誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策(COCOLO プラン) について・意見交換、情報交流
2	11/15	西宮市役所東館 研修室3	<ul style="list-style-type: none">・西宮市の不登校支援について・令和5年度ヤングケアラー実態調査について・不登校に関する研修会報告(ヤングケアラー講演会について)・意見交換、情報交流
3	3/17	西宮市役所東館 研修室3 (不登校対策庁内検討 委員会と同時開催)	<ul style="list-style-type: none">・不登校支援プログラム「西宮市不登校保護者の会」開催報告・ヤングケアラー実態調査について・意見交換、情報交流

第5節 学校給食

学校給食は、児童生徒に食事について正しい理解と望ましい習慣を養うとともに、健康の増進をはかることなどを目標に、小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校において全校自校調理方式により実施した。

献立は、小学校・中学校・義務教育学校は、それぞれブロック別統一献立で、特別支援学校は独自献立で実施しており、献立内容では、行事食・外国料理等を取り入れるなど多様化を図るとともに、小学校において子供たちがあらかじめ食べたい献立を予約しておくリザーブ給食を行い、選択給食の充実を図った。併せて、学校給食用パンの個包装及び金属探知を実施し、安全管理を徹底した。

食物アレルギー対応については、食物アレルギー対応マニュアルに沿って、調理最終段階での卵(うずら卵、マヨネーズを含む)除去を基本とした除去食対応を行うとともに、保護者から提出されたアレルギー献立チェック表の情報を教職員が共有することで、アレルギー事故防止に努めた。また、平成29年9月の献立から学校給食献立作成・アレルギー管理システムを全校で本格的に稼働した。

衛生管理については、学校給食衛生管理基準及び西宮市学校給食衛生管理指針に基づき徹底を図るとともに、調理従事者等への研修を実施し、意識の高揚に努めた。

施設設備については、給食室の空調整備を実施するとともに耐用年数の経過した備品の買い換えや施設の補修工事を実施した。

また、平成27年7月に西宮市学校給食審議会からの答申を受け、見直しを行っていた学校給食基本方針を平成29年3月に改定した。

1 給食管理運営事業 (220508)

(1) 給食実施状況

小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校の児童生徒を対象に実施した。

区分 校種別	1食当たりの給食費 (円)	実施回数 (回)	実施延食数 (食)
小学校	275	186	4,906,627
中学校	325	180	1,927,623
義務教育学校	前期課程 275	188	30,157
	後期課程 325		44,531
特別支援学校	小学部 275	178	24,080
	中学・高等部 325		
計	—	—	6,933,018

※ 小学校・中学校の実施回数は、平均実施回数。

(2) 給食費収支

区分	金額 (円)	摘要
給食費収入額	2,043,835,345	児童生徒、教職員等給食費等
給食費支出額	2,057,475,793	食材費、食材配送費
差額	△13,640,448	西宮市学校給食費基金で補填

※ 令和2年度から令和5年5月2日まで、新型コロナウイルス感染症に係る出席停止や学校閉鎖等の場合には給食費を請求していない。

※ 令和5年4月1日に給食費を改定したが、令和5年度中は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した「学校給食費保護者負担軽減事業」を実施し、学校給食費の保護者負担額を実質据え置きとした。

(3) 衛生管理

学校給食用物資等について、下記の検査を実施し、衛生管理及び品質管理の徹底を図った。また、学校給食従事者に、月2回の検便を実施した。

内容	月日	検査者	検査項目	検査数	結果
米飯及び米飯用食器の細菌検査	7/3 12/4 2/5	西宮市保健所	大腸菌群、 一般細菌数	米飯及び食器 各1検体	大腸菌群 米飯：陰性 食器：陰性 一般細菌数 米飯：基準値未満 食器：基準値未満
米飯用食器汚れ落ち検査	6/15 7/3 11/13 12/4 2/5 3/18	学校給食課	でんぷん分、 脂肪分の汚れ	米飯用食器 1枚×2 (米飯用食器洗浄委託業者において抜き取り)	おおむね良好

(4) 学校給食関係会議・研修会等

名 称	月 日	対象者	内 容
西宮市学校給食審議会	11/30, 3/15	審議会委員	給食実施状況の報告及び収納状況の報告、給食関係予算及び決算報告
西宮市学校給食献立検討委員会	5/8, 5/9, 8/1, 8/2 10/3, 10/4, 1/9, 1/10, 3/4, 3/5	献立検討委員	献立検討その他給食全般について
献立作成研究会	5/23, 5/25, 7/11 7/13, 10/24, 10/25, 12/13, 12/15, 3/12, 3/13	チーフ調理員 献立作成栄養 教諭	実施献立の反省・検討及び実施予定献立の説明
学校給食事業場安全衛生委員会	5/19, 6/9, 7/14 9/8, 10/13, 11/10 1/19, 2/16	安全衛生委員	労働安全衛生法等に基づき事業場及び職員の安全衛生について協議
西宮市学校給食物資評価委員会	4/20, 6/20, 9/20 11/20, 2/20	物資評価委員	給食に使用する物資の評価・選定
西宮市学校給食栄養担当者会	4/13, 5/11, 6/8 7/6, 8/3, 9/7 10/12, 11/6, 12/1 1/12, 2/8, 3/14	栄養教諭	献立原案作成・検討、栄養管理、衛生管理、給食物資等について検討
調理従事者研修会（聴講研修）	8/4	給食従事者	講演「学校給食における衛生管理」 講師 西宮市保健所 食品衛生監視 久村 哲也 講演「かるしお®テクニックを使った学校給食における減塩の取り組みについて」 講師 国立循環器研究センター 長尾 信之
調理従事者研修会（実習）	7/26, 7/27	チーフ調理員	学校給食献立研究（調理実習）
チーフ調理員研修会	① 4/5 ② 8/25	チーフ調理員	① 学校給食の実施について 学校給食予算と取組について 等 ② 講演「リーダー研修」 講師 一般社団法人ほめる達人協会 特別認定講師 高坂 誠
栄養教諭・学校栄養職員研修会	8/3	栄養教諭・ 学校栄養職員	講演「健康食品・食品添加物」 講師 武庫川女子大学 教授 松浦 寿喜

(5) 食育推進

栄養教諭の配置とともに各校における食育推進指導体制、組織の整備及び食に関する指導計画の策定に努め、栄養教諭・学校栄養職員による食に関する研究授業を実施した。栄養教諭が中心になって、食育推進実践研究の方向性・方策の検討、協議を行い具体的な実践計画・内容等の立案や研究を行った。

市内産のだいこんや近隣市産のきゅうりなど6品目の農作物を学校給食に取り入れ、地産地消の推進に努めた。また、各校に対して給食試食会の開催依頼を行い、保護者への啓発を行った。

(6) 食育関係会議・研修会等

名 称	月日	対象者	内 容
食育(給食)担当者会	4/24	食育(給食)担当教諭	学校における食育推進について 学校給食の実施について 食物アレルギー対応について
食育推進研修会 兼 食育(給食)担当者会	1/5 ~ 2/29	栄養教諭 学校栄養職員 食育(給食)担当教諭	講演 「生涯を通じた心身の健康を支える 食育の推進」(オンライン) 講師 武庫川女子大学教授 高橋 享子
宮っ子給食の食育 フェア	10/14	市民	テーマ「もっと知ろう!宮っ子給食」 ～くらべよう 今と昔の給食～ 内容: パネル展示・クイズ・体験コーナー 参加者: 約 200 人
あったらいいな～ こんな献立	選考: 9/11 9/22 展示: 10/14	市立学校の児童生徒	応募総数: 1,114 作品 優秀賞: 2 人 グッドアイデア賞: 10 人 優秀作品は、給食の献立で採用予定

2 給食施設設備整備事業 (220509)

事 業 名	事業費(千円)	事業概要
学校給食施設設備整備事業	131,998	回転釜買換え : 瓦木小、鳴尾小、甲陽園小、平木小、大社小、高木小、上甲子園小、東山台小、鳴尾中、山口中、浜脇中 食器消毒機買換え: 上ヶ原小、上ヶ原南小、生瀬小、樋ノ口小、津門小、北六甲台小、平木小、春風小、鳴尾北小、塩瀬中、大社中、真砂中、上甲子園中 食器洗浄機買換え: 小松小、平木中 ボイラー買換え : 神原小、大社小、鳴尾北小、生瀬小、平木中、上甲子園中、深津中、苦楽園中

主な工事 (請負金額税込 1,000 千円以上)

工事名称	請負金額 (千円)
鳴尾北小学校・浜脇中学校給食室冷暖房機械設備工事	23,355
苦楽園小学校・甲武中学校給食室冷暖房機械設備工事	20,900
鳴尾北小学校・浜脇中学校給食室冷暖房電気設備工事	3,432
苦楽園小学校・甲武中学校給食室冷暖房電気設備工事	2,178
鳴尾北小学校・浜脇中学校給食室塗装改修他工事	3,775
苦楽園小学校給食室塗装改修他工事	2,035
甲武中学校長寿命化改修他工事	1,499
上ヶ原小学校給食室給水・給湯管改修機械設備工事	6,447

第6節 学校情報化推進

1 学校情報化推進事業（220207）

(1) 組織

学校情報化については、平成 21 年度、新たな専任の担当組織として学校情報化推進グループを設けて取り組むことになった。市長が教育 CIO を兼務して、教育長が教育 CIO 補佐となり、全庁的な組織として、学校情報化推進本部を設置した。学校においては、学校 CIO である校長を中心として、学校 CIO 補佐（教員、事務職員）2 人がサポートする体制を整備した。

また、学校 ICT 環境の更新に向けて、学校の代表者及び教育委員会事務局内の関係部署からなる次期 ICT 環境整備検討委員会を設置した。

(2) ICT 機器整備等

平成 21 年度の、国の学校 ICT 環境整備事業の補助金を受け、小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校の教室を校内 LAN でつなぎ、大型ディスプレイと教室用パソコン、プロジェクター装置、教室移動用パソコン等を整備した。さらに、小学校・中学校・特別支援学校には電子黒板を 1 台ずつ配備した。

これによりパソコンを利用した授業が普通教室で行える環境となり、西宮市教育情報ネットワークシステム（EduNet）やインターネットを活用した授業が可能となった。

令和元年度には校務系機器の更新を、令和 2 年度には、文科省が提唱する GIGA スクール構想に基づき、国庫補助金を活用し、児童生徒用 1 人 1 台端末の整備と校内ネットワークの整備を行うとともに教育系機器の更新等を行った。

令和 3 年度には、学校毎にインターネット接続用回線を新たに整備し、校内からのインターネット接続について環境改善を行った。

ア 学校情報化推進事業に係る教育系 PC 整備状況（令和 5 年度末 現在）（単位：台）

整備内容	小学校	中学校	高等学校	義務教育学校	特別支援学校	事務局	合計
児童生徒用 タブレットパソコン	22,263	11,253	0	449	30	0	33,995
移動用 タブレットパソコン	4,244	0	100	0	16	0	4,360
指導者用 ノートパソコン	1,067	475	0	27	12	21	1,602
パソコン教室用 デスクトップパソコン	0	801	0	40	0	0	841
図書システム用 パソコン	88	40	6	4	2	5	145

イ 学校の ICT 環境の整備状況と教員の ICT 活用指導力（令和 6 年 3 月 1 日 現在）

指 標	数 値
校務用パソコン 教員への配備率	100.0 %
教育用パソコン 1 台あたり児童生徒数	1 人
普通教室 校内 LAN 整備率	100.0 %
校務に ICT を活用する能力 ※	94.3 %
授業中に ICT を活用して指導する能力 ※	88.8 %

※ 文部科学省「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」より

3) 校務支援システム

平成 21 年度から順次開発を進めており、平成 23 年度からは、サブシステムごとの検討委員会やワーキンググループを設置し、完成したサブシステムは順次稼働させ、平成 24 年度末には、ほぼすべてのサブシステム（12 カテゴリ 27 サブシステム）が稼働した。

特に、平成 24 年度から全小学校・中学校・義務教育学校 60 校での運用が始まった通知表作成システム及び指導要録（指導）作成システムは令和元年度においても安定稼働しており、学期末や年度末の校務の負担軽減に寄与している。また、各サブシステムの稼働に伴い教員個々の「校務や授業に ICT を活用する能力」は依然として高い水準を維持している。

(4) 保守体制

平成 26 年度の校務用パソコン入替、平成 27 年度の教育用パソコンの入替を行う際に、賃貸借契約に変更したため、ハードウェア保守については賃貸借契約に含めることにより、保守費の軽減が可能となった。また常駐SE等によるネットワーク・サーバ等の常時監視などの対応は維持しており、システムの安定稼働の提供を可能にし、市教育委員会・学校園の保守業務の負担を軽減している。

第 7 節 総合教育センター

1 研究・研修事業（220701）

(1) 研究グループ

小学校・中学校教職員で研究グループを組織し、指導主事の指導助言を受けながら、今日的な教育課題解決のための共同研究を行った。

研究グループ名（領域）	研究主題
教育一般 小学校社会	副読本「わたしたちの西宮」の効果的な活用の研究
教育一般 中学校社会	西宮郷土資料集・西宮郷土地図の教材開発、授業改善の研究
教育一般 英語・外国語活動	つながり、学び、挑戦し続ける、英語・外国語教育
教育一般 校内研究	西宮版「校内研究推進ガイドブック」の作成
科学教育 理科教育	子どもの興味関心をひく単元導入や発問の研究とその伝達
情報教育 情報教育	ICT を活用した授業改善・プログラミング教育の研究
教育一般 こころの教育	いじめ・不登校の未然防止に向けた魅力ある学校づくり ～「こころん・サーモ」を活用したエビデンスに基づく児童生徒理解～

(2) 教育調査・研究のまとめ

ア 学力調査（小学校・中学校）

(ア) 調査目的

義務教育 9 年間における基礎学力の定着と向上の観点から、全国学力・学習状況調査と合わせて、市として学力調査を実施し、基礎資料となるデータを収集・蓄積し、市内児童生徒の学力・学習状況を把握・分析することにより、教育施策や教育条件等の検証・改善を図る。

全国学力・学習状況調査において、毎年国語、算数・数学が、3 年毎に理科、英語が実施され

る。平成 30 年度から、実施以外の教科を補填する形で市の学力調査を実施している。

- (イ) 調査期日 全国学力・学習状況調査：令和 5 年 4 月 18 日（火）
市の学力調査：令和 5 年 5 月 8 日（月）～12 日（金）
- (ウ) 調査対象 小学校及び義務教育学校前期課程第 6 学年
中学校第 3 学年及び義務教育学校後期課程第 9 学年の全児童生徒
- (エ) 調査内容 小学校及び義務教育学校前期課程第 6 学年：（全国）国語、算数、質問紙
（市）社会、理科
中学校第 3 学年及び義務教育学校後期課程第 9 学年：
（全国）国語、数学、英語、質問紙
（市）社会、理科
- (オ) 調査結果 全国の平均正答率を 50 とした偏差値による 3 年間の推移

【国語】

小学校第 6 学年

年度	R3	R4	R5
西宮市	52.6	54.1	55.1

中学校第 3 学年

年度	R3	R4	R5
西宮市	51.1	51.4	54.1

【算数・数学】

小学校第 6 学年

年度	R3	R4	R5
西宮市	54.9	57.3	57.6

中学校第 3 学年

年度	R3	R4	R5
西宮市	53.3	56.7	57.2

【社会】

小学校第 6 学年

年度	R3	R4	R5
西宮市	48.5	49.2	49.8

中学校第 3 学年

年度	R3	R4	R5
西宮市	52.9	51.1	51.3

【理科】

小学校第 6 学年

年度	R1	R3	R5
西宮市	50.8	49.3	50.5

中学校第 3 学年

年度	R1	R3	R5
西宮市	49.6	51.7	51.2

【英語】

中学校第 3 学年

年度	R1	R5
西宮市	55.6	56.2

※ 本検査は、前学年の学習内容を調査している。

※ 【社会】は、R3 市の学力調査、R4 市の学力調査、R5 市の学力調査。

※ 【理科】は、R1 市の学力調査、R3 市の学力調査、R5 市の学力調査。

(3) 教科等研究会に対する助言

全市教職員が自主的に実践研究を推進している各研究団体に助言を行った。

ア	西宮市幼児教育研究会	会長	夙川幼稚園長	上田 優美
イ	西宮市立小学校教科等研究会	会長	北六甲台小学校長	池田 睦郎
ウ	西宮市立中学校教科等研究会	会長	鳴尾南中学校長	奥谷 和久

(4) ひょうごがんばり学びタイム

「確かな学力」の育成に向け、基礎・基本や学習習慣の定着、知識・技能を活用する力等、課題の改善を図るため、兵庫県からの委託を受け、小学校 26 校、中学校 9 校、義務教育学校 1 校において地域人材を活用したきめ細かな学習支援を行った。

また、小学校 23 校で、英語が堪能な人材が外国語活動、外国語科の授業において、授業補助や学習支援を行った。

(5) 学校図書館の充実

ア 人のいる図書館

令和元年度から学校司書を配置（全小学校・中学校・特別支援学校 60 校に 41 人、研修日 2 日を含め各校 44 日勤務。西宮浜義務教育学校には読書振興課所属の学校司書 2 人が週 5 日勤務）。および教科指導等相談事業（学校図書館活動等）にかかる講師に対する報償費を措置（実施校：幼稚園 4 園、小学校 2 校 計 6 校園）。

イ 本に親しむ環境整備

市立全学校の学校図書館図書標準冊数に対する蔵書整備率 100%以上を目指すとともに、図書の更新を促進。

ウ 検索できる図書館の整備

調べ学習用パソコンの配備、調べ学習用のカテゴリ別検索サイトの構築。

2 現職教育－専門研修

(1) 教科・領域

各教科や領域において、その専門性を高め、教職員の資質・指導力の向上を図るために、授業研究や教材開発、実技、指導法等について研修を行った。

教科	内 容	回数	参加人数
小学校外国語活動	講話「『指導と評価の一体化』に向けて」、外国語活動ワンプoint講座 他	3	71
国語科	講話[物語文における主体的・対話的で深い学び]	1	87
社会科	臨地研修「近世大阪を歩く-天満・大阪城・北船場-」 臨地研修「歩こう知ろう西宮」 講話「思考の可視化を組み込んだ『子どもと共に創る板書』の授業」 他	3	83
算数・数学科	講話「一人ひとりの児童の数学的な見方・考え方の成長を目指す授業」	1	32
理科	講話・演習「西宮の海岸の自然」 他	3	50
「わたしたちの西宮」	副読本「わたしたちの西宮」の説明会及び実践授業紹介	2	40

教科	内 容	回数	参加人数
英語科	講話「主体的に学習に取り組む態度」の学習評価の在り方について	1	58

(2) 情報教育研修

情報活用能力の向上をはかるとともに、ICT 機器やデジタルコンテンツを授業の中で有効かつ効果的に活用できる教員の育成に重点をおいて実施した。

領域	内 容	回数	参加人数
学校事務職員 ICT 研修	オンライン会議の開催やアプリ等の活用について 他	2	40
情報教育研修	ICT 授業活用研修 他	6	200

(3) 課題教育

学校教育の今日的課題である諸問題について、その課題や指導のあり方等について研修を実施した。

課題	内 容	回数	参加人数
特別支援教育研修	講話・演習「特別支援教育のニュースタンダードを語り合おう！～事例を通じて学ぶ～」	1	53
国際教育研修	講話「校内での外国人児童生徒の受け入れと多文化共生教育」	1	16
人権教育研修	講話「ヤングケアラーについて考える」 他	2	71
環境教育研修	講話「コープこうべの環境の取り組み ～地域に根差したSDGsの取り組み～」	1	22
学級経営研修	講話「学級経営に関する困り感への対応とその方法～学級で生じる日常的なトラブル問題の解決（ピア・メディエーション）をめざして～」	1	41
道徳教育研修	講話「確かな学びを育てる『特別の教科 道徳』の授業づくり」	1	35
健康教育研修	講話「健康で安全な生活が主体的に実践できる子供の育成をねらって」	1	94
企画研修	講話「主体的・対話的で深い学び～詩を題材にして～」 他	4	165

3 現職教育－職務研修

(1) 経営研修

管理職として教育の今日的課題を把握し、西宮教育の方向に対する理解を深めるために研修を実施した。

区 分	内 容	回数	参加人数
校園長研修	講話「学歴よりも本気歴」	1	73
教頭研修	講話「西宮教育推進の方向と課題」 他	4	268

(2) 主幹教諭研修

区 分	内 容	回数	参加人数
主幹教諭研修	講話『『チーム学校』から『チーミング学校』への脱皮 ～ミドルリーダーに求められるもの～』	1	139

(3) 西宮教育推進講座

区 分	内 容	回数	参加人数
西宮教育推進講座	講話「学校活性化に向けた組織マネジメント」 他	4	242

(4) 年次研修

新任教員～5年次教員、中堅教員および15年次教員の資質向上を図り、教員としての専門性とより豊かな人間性を育てていくことをねらいとして研修を行った。

区 分	内 容	回数	参加人数
初任者研修	教師としての職務の遂行に必要な事項に関する実践的な内容	25	1,159
2年次教員研修	講話「特別支援教育について」、「生徒指導について」 講話・演習「道徳教育について」 他	5	178
3年次教員研修	講話「幼児教育の視点で学級経営を見直す」 講話「西宮の不登校対策について」 他	3	214
4年次教員研修	講話「授業評価」 講話「指導要領の着実な実施と特別支援教育の在り方について」	1	58
5年次教員研修	講話「企業に学ぶ」、「サービスについて」 講話「5年次教員へ伝えたいこと」	1	34
中堅教諭等 資質向上研修	資料配布「中堅教諭等資質向上研修の概要」 演習「少人数グループ研修『教科指導等』」 演習「少人数グループ研修『生徒指導等』」 選択研修	10	269
15年次相当研修	選択研修	1	86

(5) 臨時的任用教員研修

区 分	内 容	回数	参加人数
臨時的任用教員 研修	講話「サービスについて」 講話・グループ交流「授業づくりの基礎」 「学習指導の基本的な展開について」 他	2	85

(6) 学校事務職員研修

区 分	内 容	回数	参加人数
共通研修	講話「西宮教育について」 講話「文書について考える～はじまりは情報共有から～」他	2	157
初任者研修	講話「学校事務職員の標準的職務領域と内容」 他	7	7
年次研修Ⅰ	講話「服務・福利厚生等について」「給与・旅費について」	2	16
年次研修Ⅱ	講話「学校の防災を考える」	1	13
年次研修Ⅲ	講話「児童・生徒の支援のための教育環境整備について」	1	33
年次研修Ⅳ	講話「学校における働き方を進めていくために～事務職員ができることを考えよう～」	1	34

(7) 幼稚園職務研修

区 分	内 容	回数	参加人数
幼稚園管理職研修	講話「特別支援教育の知見を生かした園経営」	1	18
幼稚園新任教員 保育実技研修	講話「子供の見方、保育記録について」 他	4	30
幼稚園3年次・ 4年次教員研修	講話・レポート演習「表現について」 他	3	6
幼稚園5年次 教員研修	講話「幼児教育の専門性を高めるために」	1	3
幼児教育共通研修	講話「子供の見方、理解と支援」	1	59

4 教育情報

(1) 研究紀要等の発刊

今日的な教育課題を解決するための諸教育資料を発刊した。

ア 報告書、研究誌、学習資料等

領 域	名 称
教育啓発	まど No.99
科学教育	実験と観察 No.62
科学教育	中学校理科生徒研究発表会資料「われらのあゆみ」

イ 副読本、資料集

種 別	名 称
教育一般 小学校社会科	副読本「わたしたちの西宮」(3年、4年)、「わたしたちの西宮市・兵庫県地図」
教育一般 中学校社会科	「西宮郷土資料集」、「西宮郷土地図」

(2) 教科書展示会

「阪神南第2教科書センター」として、教科書研究や教育研究に資するため、各種の教科書を展示するとともに、法令による教科書展示会を下記のとおり実施した。

期 間 6月20日(火)～7月4日(火)まで14日間
 ※ 6月26日(月)は移動日のため閉館。土・日曜日も開館。

会 場 総合教育センター教科書展示室及び西宮市立北口図書館

教 科 書 小学校、中学校、高等学校、特別支援学校用教科書

来 会 者 教員76人(小学校33人、中学校35人、その他8人)
 市民208人、教育委員会39人、合計323人

(3) 理科・生活科作品展

市内小学生・中学生の、日常生活から素材を見つけた実験・観察の記録や、科学工作などの研究成果を交流しあうことにより、理科・生活科学習に対する意欲や関心を高めることを目的としている。

会場開催に代わり、作品の一部をケーブルテレビで放送の後、総合教育センターHPにて「ノーベル賞への第一歩」と題して公開した。

ベイコム放送日 10月23日(月)～29日(日) 毎日19:00～(約1時間30分)

総合教育センターHP 12月22日(金)～次回作品紹介まで

出品児童・生徒数 小学生246人、中学生93人

作品の種類・出品数

種 類		校 種		出 品 数			
				小 学 校		中 学 校	合 計
		生 活 科	理 科				
A	標 本	植 物		4	1	2	7
		動 物	昆 虫	6	3	2	11
			貝	1	0	0	1
			その他	2	0	2	4
			岩 石	0	1	0	1
			化 石	0	1	1	2
B	実 験 ・ 観 察	生 物		35	30	22	87
		物理・化学		6	65	43	114
		天 文		0	3	0	3
		気 象		3	14	5	22
		地 質		0	3	1	4
	そ の 他	10	16	9	35		
C	工 作	模 型		2	11	3	16
		機械・装置		3	6	2	11
		おもちゃ		4	1	0	5
		そ の 他		2	1	0	3
D		そ の 他		6	6	1	13
合 計				84	162	93	339

(4) 科学教室

ア わくわくサイエンス

理科に興味を持っている児童・生徒や理科で活躍している児童・生徒を対象に、実験や観察を通してその方法や技能を身につけさせ、同時に自然認識を高めることを目的としている。

月 日 7月21日(金)、7月24日(月)、7月25日(火)

会 場 総合教育センター西宮浜分室 研修室6

講 師 下表のとおり

受講者数 下表のとおり

◎ 小・中学生の部

月日	内容	講師	受講者数
7/21	牛乳パックでカメラを作ろう！	上ヶ原小学校 教諭	32
7/24	いろいろなもので電気を作ろう	甲陽園小学校 教諭	27
7/25	自分で作るおもしろ実験！	兵庫大学 教職センター 主査	15

イ わくわく自然観察

児童・生徒やその保護者の自然に対する関心に応えるために、理科学習に関する採集・標本作製・同定など理科研究についての指導を行った。

月 日 8月2日(水)

会 場 みやっこキッズパーク、神祇官分室

講 師 元西宮市立中学校 教諭、山口中学校 教諭

参加者 小学生9人 中学生3人

(5) 所報、講座・教室等計画一覧

ア 所報 令和5年度版通巻第60号(2024/3/31発行)

イ 講座・教室等計画一覧

新型コロナウイルス感染拡大防止のため研修等を中止したことから、令和2年度は研修等一覧を発行しなかった。令和3年度以降は必要性等を鑑み、研修等一覧を発行しないこととした。

(6) 学習支援サイト「まなみや」の活用 -コロナ禍における学びの継続への取組み-

令和2年3月から5月末までの学校臨時休業期間中には、児童生徒の学びの支援として、市HPに学習支援サイト「まなみや」を立ち上げた。同年4月には家庭学習の支援となる学習コンテンツへのリンクを掲載し、教育委員会事務局が作成した「家庭学習の進め方」を解説する動画を公開した。また、学習内容を解説した動画を教科研究委員の教員が作成し公開した。小学校の国語、算数、中学校の数学と英語、幼稚園向けの動画を作成し、延べ約3万回の視聴がみられた。

これらを踏まえ、中学校教科等研究会の5教科(国語、数学、社会、英語、理科)において、令和5年度までに動画を始めとしたデジタルコンテンツの作成や紹介を行った。また、残りの教科(保健・体育、美術、技術、家庭科、音楽)においては、令和6年度の作成を目標とした計画をたてた。

第 3 章 社会教育（教育委員会所管分）

概 要

<西宮市における「参画と協働」の社会づくりと全庁的な生涯学習推進体制の構築>

本市では、「第 5 次西宮市総合計画」の「未来を拓(ひらく) 文教住宅都市・西宮～憩い、学び、つながりのある美しいまち～」を都市目標とし、人と人、人と自然等の多様なふれあいの場を大切に、心の豊かさを感じることで、中核市として一層魅力あふれるまちづくりを目指している。この計画の実現のため、市民の社会参加や社会貢献につながる環境の整備と市民のもつ豊かな知識・経験など「市民力」を生かす「参画と協働」の社会づくりを進めている。

社会教育については、令和元年 6 月に第 9 次地方分権一括法が公布され、地方公共団体の判断により公立社会教育施設の管轄を教育委員会から首長部局へ移管することが可能になった。これを受け、令和 2 年度に社会教育委員会を生涯学習審議会へ移行し、令和 3 年 3 月に全庁的な生涯学習施策の方向性を示した「西宮市生涯学習推進計画」（令和 3 年度～令和 12 年度）を改定するとともに、令和 3 年度に本市教育委員会が所管していた公民館・図書館・郷土資料館及び文化財行政を市長事務部局へ移管した。教育委員会においては、コミュニティ・スクール、放課後キッズルーム事業、PTA 活動への支援、青少年補導活動など、特に学校教育と関連の深い事業を引き続き実施している。

このような経緯により市長を中心とした全庁的な生涯学習推進体制を確立したことを踏まえ、現在、市長と教育委員会が連携を密にして、学校教育を含む各教育施策の連携強化、生涯学習関連事業の効率化、社会教育施設、文化施設等を含む複合施設のあり方の見直しなどに取り組んでいる。

<教育委員会の取り組み>

子供たちを取り巻く環境や学校が抱える課題は複雑化・多様化しており、これからの変化の激しい社会を生きる子供たちのためには、社会総がかりで子供たちへの教育に携わることが重要であり、地域住民等と連携・協働体制を構築し、その協力を得ることが不可欠となっている。「夢はぐくむ教育のまち西宮」の実現に向けて様々な施策を実施した。

保護者や地域住民等が目指すべき教育のビジョンを共有し、目標の実現に向けて協働するコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は、令和 5 年 4 月に幼稚園を除く全市立学校で導入となった。

また、家庭教育に関する保護者の意識を高め、家庭において保護者が子供たちに基本的な生活習慣や規範意識、豊かな心等をはぐくむことができるよう、学習機会の充実を図るとともに、社会全体で保護者の学びや育ちを支援できるよう、学校・家庭・地域のつながりづくりに努めた。

青少年に対しては、自立心や感性を育成するための自然体験活動事業を実施する他、「西宮市二十歳のつどい」を開催した。また、青少年関係団体への支援により、青少年への多彩な地域活動の場の提供や社会参加の促進、子供たちへの多様な体験や交流の場の提供に努めるとともに、学校・家庭・地域の連携を深めて地域コミュニティの活性化を図り、地域の教育力が発揮できるような仕組みづくりに努めた。

学校施設や社会教育施設等を活用し、子供たちが放課後に安全かつ安心して過ごせる場を作り、地域住民に見守られながら主体的な遊びや学び等を通してコミュニケーション力や社会性、協調性等を育み、健全育成を図る放課後キッズルーム事業は、30 校区で実施した。

非行化防止については、補導委員による見守り活動を軸に、地域の大人が地域の子供を見守る体制構築に取り組んだ。また、学校だけでなく警察や少年サポートセンター等の関係機関とも合同補導を実施し、情報共有と連携強化を図った。

さらに、補導活動と生徒指導、学校問題解決支援などが緊密に連携し、不審者情報への緊急対応や行方不明児童生徒の捜索等、学校現場への支援に取り組んだ。

第1節 社会教育

1 家庭教育関係事業 (230201)

家庭教育出張講座を開催するなど、学習機会の提供に努めた。

また、家庭教育に関する支援情報を市民に提供するため、情報誌（家庭教育ニュースレター『家族の絆』）を年2回発行した。さらに、家庭・地域・学校が連携し、大人が責任ある姿勢をもって分け隔てなく子供と接することが、家庭教育への支援につながると考え、市民が一体となって家庭教育に取り組んでいく指針となるよう、家庭教育「5つのねがい」のリーフレットを市立小学校・義務教育学校・特別支援学校に入学した新1年生の保護者へ配布した。

(1) 家庭教育出張講座

テーマ	講師	月日	回数	場所	対象	参加延人数
マザークラスでの絵本の読み聞かせ講座	NPO 法人 「絵本で子育て」 センター	4/19～1/17	3	中央保健福祉センター	妊婦	56
		4/24～2/26	6	北口保健福祉センター		132
		6/15～3/21	4	鳴尾保健福祉センター		58
		6/13～2/13	2	塩瀬保健福祉センター		7
		10/11	1	山口保健福祉センター		1
あーよかったなあなたがいて～こんなお母さん、お父さんになりたいな～	教育サポーター 仲島 正教	11/9	1	市立西宮高等学校	高校生	239

(2) 家庭教育講演会

テーマ	講師	月日	回数	場所	対象	参加延人数
キャサリン&ナンシーのお買い物上手にできるかな!?	株式会社マネイク 西岡 奈美 竹内 かおり	10/15	1	西宮市大学交流センター大講義室	一般	40
いじめっ子・いじめられっ子を作らないために今からできること～自己肯定感を育むことの大切さ～	自己肯定感をはぐくむ子育てサポート「ノブリの森」 森 かほり	12/3	1	西宮市甲東ホール	一般	22

(3) PTAの支援

令和4年度に引き続き、PTA活動の見直しについて西宮市PTA協議会と懇談を行った。

PTA活動の活性化とPTA会員同士の親睦を図るため、単位PTA会長意見交換会を開催した。また、PTA活動を円滑に推進する上で留意すべき事項を掲載したPTA運営ハンドブックを作成し、ホームページに公開した。

ア PTA会長向け意見交換会 (1/19 参加者数：29人)

イ PTA功労者表彰 (被表彰者3人)

(4) ユネスコ活動の促進

教育・科学・文化を通じて「世界平和と人類の福祉に貢献する」ことを目指すユネスコ精神の啓発に努めるとともに、西宮ユネスコ協会が実施する各種事業の開催を支援した。

事業名	回数	月日	概要	参加人数
国際理解講座	1	3/16	国内外で活躍されている方等を講師に招き、広く市民に多文化共生、国際理解を深めてもらうことを目的に講座を実施した。 【講師】南出 和余（神戸女学院大学文学部准教授） 【テーマ】「バングラディッシュの人々と私たちとの関係」～「教育第一世代」の若者は今～	18
市政ニュース「ユネスコ特集記事」掲載	1	8/10号	ユネスコ活動の啓発を図り、市民に広くユネスコについて理解を深めてもらうため市政ニュースに特集として掲載した。	—
ユネスコ世界児童画展	1	3/19～3/24	市内の幼稚園の園児・小学校の児童及び外国の子供の絵を展示し国際交流を図った。	477

2 学校・家庭・地域の連携協力推進事業 (230202)

(1) コミュニティ・スクール推進体制構築事業

令和2年度からコミュニティ・スクールの導入を開始し、令和5年度に幼稚園を除く全ての市立学校へのコミュニティ・スクール導入を完了した。

令和5年度は、23校（小学校11校、中学校10校、高等学校2校）にコミュニティ・スクールを導入し、学校運営協議会委員の任命を行ったほか、地域学校協働活動推進員を配置することで学校運営協議会と教育連携事業の一体的推進を図った。

ア 地域学校協働活動推進員を対象とした事前研修会の開催

開催回数 年1回 参加者数 延37人

イ 地域学校協働活動推進員を対象とした地区ブロック別交流会の開催

開催回数 年17回 参加者数 延212人

ウ コミュニティ・スクール研修会

学校運営協議会委員や教育連携協議会委員、地域学校協働活動推進員等を対象に、2校の事例発表とグループワークを行った。

(2) 教育連携事業

全ての市立小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校に設置している学校運営協議会等を充実させ、地域の教育力の活性化を図るため、地域住民が学校の教育活動を支援する教育連携事業を下記のとおり推進した。

ア 会議の開催

小学校 開催回数 延163回 中学校 開催回数 延76回 義務教育学校 開催回数 延18回
高等学校 開催回数 延4回 特別支援学校 開催回数 延2回

イ 事業の実施

校内の環境整備活動、児童の登下校の安全指導活動、授業の準備・補助、部活動支援等

小学校 事業数 延462事業 中学校 事業数 延216事業 義務教育学校 事業数 延25事業

(実施回数 延10,833回) (実施回数 延3,533回) (実施回数 延666回)

高等学校 事業数 延14事業 特別支援学校 事業数 延8事業

(実施回数 延154回) (実施回数 延103回)

ウ 西宮市学校・家庭・地域の連携協力推進協議会の開催 年1回

3 放課後キッズルーム事業 (230305)

放課後等に小学校の教室や運動場、社会教育施設等を活用し、子供たちの安全で自由な遊び場や学びの場を提供する「放課後キッズルーム事業」を実施。

なお、令和4年度から事業名称を「子供の居場所づくり事業」から「放課後キッズルーム事業」に変更し、市職員であるコーディネーターを学校に配置し、このコーディネーターが中心となって地域の方々とともに子供たちの成長を見守る事業形態を「放課後キッズルーム事業（直営型）」、育成センターの待機児童対策にもつながるよう運用を育成センターに近づけ、事業者へ委託して実施する事業形態を「放課後キッズルーム事業（委託型）」と呼ぶこととしている。「放課後キッズルーム事業（直営型）」には、公民館で実施する事業形態、学校や地域の取組みに対して支援を行う事業形態も含まれるが、これらは順次コーディネーターを配置して実施する事業形態に移行する予定である。

「放課後キッズルーム事業（直営型）」については、新たに大社、鳴尾、甲子園浜、北六甲台小学校区に導入するとともに、春風、生瀬小学校区では、コーディネーターを配置して実施する事業形態に移行し、24校区で実施した。「放課後キッズルーム事業（委託型）」については、6校区で実施した。

(1) 実施状況

実施校区	実施形態	活動場所	実施回数	参加延人数（子供）
浜脇小学校区	直営型	運動場、図書室、 パソコン教室	135	6,828
安井小学校区	直営型	運動場、図書室、 コンピューター室	178	16,028
夙川小学校区	直営型	運動場、多目的室、相談室	198	7,929
北夙川小学校区	直営型	運動場、図書室、図書学習室	187	7,857
大社小学校区	直営型	運動場、図書室、 ランチルーム	117	6,320
甲東小学校区	直営型	運動場、視聴覚室	166	9,741
上ヶ原小学校区	直営型	運動場、多目的室、 会議室	167	8,117
上ヶ原南小学校区	直営型	図書室、理科室	182	6,846
段上西小学校区	直営型	運動場、図書室、 コンピューター室	178	13,343
深津小学校区	直営型	運動場、図書室、 旧育成センター	190	16,371
瓦林小学校区	直営型	運動場、仮設教室	180	18,644
津門小学校区	直営型	運動場、図書室、 ランチルーム	188	25,296
春風小学校区	直営型	令和5年8月まで 公民館（和室）	12	213
		令和5年9月から 小学校（運動場、 キッズルーム、会議室）	111	13,296
今津小学校区	直営型	図書室、ランチルーム	177	10,979

実施校区	実施形態	活動場所	実施回数	参加延人数（子供）
鳴尾小学校区	直営型	運動場、図書室、 ランチルーム	78	5,611
甲子園浜小学校区	直営型	運動場、図書室、 多目的室	160	6,065
鳴尾北小学校区	直営型	運動場、図書室、 ふれあい教室	187	23,205
小松小学校区	直営型	運動場、視聴覚室、 学習センター等	170	14,875
北六甲台小学校区	直営型	図書室、会議室	55	564
名塩小学校区	直営型	図書室、多目的室	185	9,132
生瀬小学校区	直営型	運動場、図書室、 多目的室	92	5,767
西宮浜 義務教育学校区	直営型	運動場、ランチルーム	171	6,749
上甲子園小学校区	直営型	公民館（集会室）	70	370
苦楽園小学校区	直営型	図書室	38	451
香櫨園小学校区	委託型	運動場、図書室、 多目的室	240	19,927
神原小学校区	委託型	運動場、図書室、 キッズルーム	236	6,511
甲陽園小学校区	委託型	運動場、図書室、 甲陽園市民館	239	11,069
平木小学校区	委託型	運動場、ランチルーム、 図書室	241	11,958
高木北小学校区	委託型	運動場、ランチルーム	239	8,106
南甲子園小学校区	委託型	運動場、図書室、 ランチルーム	232	13,643
合計	—	—	4,999	311,811

(2) サポーター研修会

見守り活動を安全かつ円滑に行い子供の安全を確保するため、見守りサポーターを対象に、見守り体制や不審者の侵入、災害発生時の備え、緊急時の対応などについて意見交換を行う見守り活動研修会を適宜各校で実施した。

実施回数 延 15 回 参加者数 延 146 人

(3) サポーター研修・交流会

見守りサポーターを対象に研修・交流会を開催し、サポーターの役割について再確認するとともに、子供との接し方や、応急手当について学び、サポーター同士の交流も行った。

(4) 放課後子供教室事業

放課後に地域の方々の参画を得て、子供たちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民の交流活動等の取組みを行う放課後子供教室事業を実施した。

開設地区 31 地区 開設回数 延 808 回

第2節 青少年教育

1 青少年育成事業 (230102)

(1) 青少年体験学習リーダーセミナー

コミュニケーション能力、協調性、他者と協働する能力、自立心、主体性、チャレンジ精神、責任感、規範意識、道徳心、創造力、柔軟な思考力、変化に対応する力といった社会を生き抜くために必要な力を育むための青少年リーダー向けセミナー

対象	高校生、大学生	第1期	実施回数	21回	登録者数	13人
		第2期	実施回数	9回	登録者数	8人
		第3期	実施回数	13回	登録者数	14人

(2) 子供の野外活動体験事業

子供たちが、自立心や生きる力を育み、社会の中で必要になる規律や協調性を身につけることができるように実施する野外活動体験事業

ア サマーキャンプ「ちろりん村」 参加者数 8人

イ こども野外活動体験事業（みやっこワイルド塾） 実施回数 3回 参加者数 84人

ウ 青少年体験学習リーダーイベント 実施回数 3回 参加者数 57人

(3) 家族ふれあい事業

自然の中での豊かな感性の育成や様々な体験活動を通じた親子のふれあいや絆づくりを進めるための家族向け野外活動事業

ア ファミリーキャンプ 実施回数 1回 参加者数 3家族 11人

イ ファミリーデイキャンプ 実施回数 2回 参加者数 12家族 44人

(4) 西宮市二十歳のつどいの実施

生まれ育った地元への愛着心を育むとともに、責任感ある社会人としての自覚を促すため実施した。

1月8日（月） 阪神甲子園球場 参加者数 3,640人（対象者数 5,261人）

(5) 西宮・栲原交流事業

西宮市と栲原町の小学5年生児童が交流し、理解と友好を深める事業

※ 事業方針について検討中のため休止中。

2 青少年関係団体の育成

(1) 西宮市子ども会協議会への助成

西宮市子ども会協議会の運営を円滑に推進し、青少年健全育成活動の基盤づくりを進めることを目的として、西宮市子ども会協議会に助成した。

ア 「子ども会大会」

次世代を担う子供たちがふれあい、思いやりの心を培い、健全な仲間作りのために、西宮市内の子ども会が一堂に集い、相互の交流を目的として開催した。

11月26日（日） 西宮市役所周辺 参加者数 911人

イ 「文化サークル連盟発表会」

子供たちがバトンや鼓笛を披露。子供たちが日々の成果を発表することや、相互の交流を目的として開催した。

1月13日（土） 西宮市民会館アミティ・ベイコムホール

(2) 地区青少年愛護協議会への助成及び「キッズのびのび事業」の実施

青少年に魅力的で多彩な地域活動の機会と場を提供して青少年の社会参加を促すとともに、家庭・学校・地域社会の連携を深めて地域コミュニティの活性化を図り、青少年健全育成活動を促進することを目的として、38 地区青少年愛護協議会に補助金を交付し、264 事業を実施した。

(3) 「青少年育成支援事業」の実施

ボーイスカウト、ガールスカウトが行う、次世代育成を通じて地域の貢献や活性化に寄与する、青少年を対象とした青少年育成事業（4 事業）に助成した。

(4) 「西宮市青少年健全育成のつどい」の実施

11 月第 3 金曜日になるお文化ホールにおいて、西宮市青少年健全育成功労者表彰式、「キラキラ輝く夢を育てるすてきな応援方法」をテーマに講演会を実施した。

参加者数 150 人（うちZoom参加者 11 人）

3 山東自然の家管理運営事業 (230104)

(1) 施設の利用状況

区分	西宮市		朝来市		その他		合計	
	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数
学校	37	21,097	1	170	1	179	39	21,446
団体	15	2,214	9	261	19	2,240	43	4,715
家族	25	336	3	38	10	64	38	438
その他	6	234	2	150	1	12	9	396
合計	83	23,881	15	619	31	2,495	129	26,995

(2) 指定管理者による自主事業

指定管理者である一般社団法人山東自然の家が、施設を有効に活用し、利用促進を図るために実施する事業

「山東で蛍観賞」、「山東で自然学校体験」等 7 事業

4 青少年補導関係事業 (230103)

(1) 西宮市青少年補導・非行化防止懇話会

西宮市青少年補導・非行化防止懇話会の開催 年 2 回

(2) 青少年補導委員会議・研修会の開催

ア 青少年補導委員代表者会	12 回
イ 県青少年補導委員研修会	1 回
ウ 阪神南三市合同補導・勉強会	1 回
エ 阪神南三市合同研修会	1 回
オ 青少年補導委員地区別反省会	7 回

(3) 街頭補導活動

ア 街頭補導員による補導活動

学校保健安全課職員が街頭補導車により 9:30~17:00（入学式や始業式、終業式は 7:30~16:00）まで、市内全域を対象として巡回した。

イ 青少年補導委員による補導活動

青少年補導委員 170 人

市内 39 各地区において声かけやあいさつを中心とした補導活動を地区毎に月 3 回程度、実施した。

また、学校保健安全課職員と各地区青少年補導委員、地域関係者、教職員等が合同で行う「地区別合同補導活動」は、市内全ての地区で実施した。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
地区数	0	0	0	0	0	0	10	9	8	4	4	4	39

(4) 特別・広域街頭補導の実施

- ア にしのみや市民祭り補導 10/28 (土)
- イ 西宮神社祭礼補導 1/9 (木) ~1/11 (土)
- ウ 門戸厄神祭礼補導 1/18 (土) ~1/19 (日)

(5) 環境浄化活動の推進

兵庫県と連携し、青少年を取り巻く環境実態調査を実施した。

調査対象店舗等 255 箇所

(6) 関係機関・地域関係団体との連携

青少年の健全育成や非行化防止をより効果的に推進するため、西宮市青少年補導委員連絡協議会の事業や活動について連携・助成を行うとともに、関係機関・地域関係団体と連携を図った。

(7) 広報啓発活動の推進

青色回転灯を設置した学校保健安全課の街頭補導車により市内全域を巡回し、「子供たちが巻き込まれる事件・事故防止」の放送を流しながらの広報・啓発活動を年間通して行った。

地区青少年愛護協議会等、地域の会合に出席し、青少年の健全育成と非行化防止の啓発に努めた。

5 山東自然の家改修事業 (230106)

給水設備制御盤改修工事、宿泊棟リーダー室他改修工事、浴室シャワー水栓増設改修工事、厨房機器更新に伴う機械設備工事等を実施した。

第 4 章 教 育 施 設

概 要

小学校施設整備

安井小学校教育環境整備事業では、校舎改築工事等を行い、旧東校舎の解体後、令和 6 年 3 月に倉庫棟の引渡しを受け、また、運動場他整備工事に着手した。

その他、段上小学校及び鳴尾東小学校で大規模改修工事、甲陽園小学校他 2 校で長寿命化改修工事、小松小学校で受変電設備改修工事、広田小学校で給水設備改修工事、夙川小学校他 10 校で体育館空調設備設置工事、上ヶ原南小学校他 5 校でトイレ改修工事、神原小学校他 2 校でブロック塀改修工事、浜脇小学校他 15 校で照明設備 LED 化改修工事を行った。

中学校施設整備

瓦木中学校教育環境整備事業では、旧校舎の解体工事後、校舎改築新築工事に着手した。大社中学校教育環境整備事業では、基本構想・基本計画策定業務を進め、また、既存校舎の耐力度調査を行った。

その他、甲武中学校で長寿命化改修工事、高須中学校で長寿命化予防改修（屋上防水・外壁改修）工事、鳴尾中学校で受変電設備改修工事、深津中学校で給水設備改修工事、大社中学校他 4 校でトイレ改修工事、今津中学校でブロック塀改修工事、苦楽園中学校で照明設備 LED 化改修工事を行った。

高等学校施設整備

西宮東高等学校で藤棚改修工事、西宮高等学校及び西宮東高等学校で空調設備改修工事、西宮高等学校及び西宮東高等学校で照明設備 LED 化改修工事、西宮東高等学校で放送設備改修工事、西宮東高等学校ホールで舞台吊物機構緞帳昇降装置改修工事を行った。

新型コロナウイルス感染症対策

小学校・中学校のトイレ改修工事のうち床の乾式化、一部洋式便器化及び小便器自動洗浄機能追加については、新型コロナウイルス感染症対策のため、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、工事を実施した。

1 施設整備事業

(1) 安井小学校教育環境整備事業 (220810)

(単位：千円)

事業名	事業費	事業概要	備考
安井小学校教育環境整備	294,075	校舎改築工事 他	9 箇年事業 (平成28～令和6年度)

主な工事 (請負金額・税込 2,500 千円以上)

(単位：千円)

工事名称	請負金額
安井小学校改築工事	2,870,415 (134,828)
安井小学校運動場他整備工事	268,350 (117,494)
安井小学校運動場整備電気設備工事	6,661 (0)

※ 債務負担行為に係る請負契約については、カッコ書きで令和5年度中の支払額を掲載。

(2) 瓦木中学校教育環境整備事業 (220811)

(単位：千円)

事業名	事業費	事業概要	備考
瓦木中学校教育環境整備	808,661	校舎改築工事 他	10 箇年事業 (平成29～令和8年度)

主な工事 (請負金額・税込 2,500 千円以上)

(単位：千円)

工事名称	請負金額
瓦木中学校校舎改築他工事	3,296,095 (659,219)

※ 債務負担行為に係る請負契約については、カッコ書きで令和5年度中の支払額を掲載。

(3) 大社中学校教育環境整備事業 (220829)

(単位：千円)

事業名	事業費	事業概要	備考
大社中学校教育環境整備	13,684	基本構想・基本計画策定 業務、耐力度調査の実施	12 箇年事業 (令和3～令和14年度)

(4) 学校施設長寿命化改修事業 (220805)

ア 長寿命化改修・大規模改修事業

(単位：千円)

事業名	事業費	事業概要
長寿命化改修・大規模改修	2,392,625	令和4年度予算繰越事業 段上小、瓦木小、鳴尾東小 令和5年度予算事業 段上小 2 箇年事業 (令和4～令和5年度) 甲陽園小 3 箇年事業 (令和4～令和6年度)

事業名	事業費	事業概要
		瓦木小 3 箇年事業 (令和 5～令和 7 年度) 今津小 3 箇年事業 (令和 5～令和 7 年度) 鳴尾東小 3 箇年事業 (令和 5～令和 7 年度) 甲武中 3 箇年事業 (令和 5～令和 7 年度)

主な工事 (請負金額・税込 2,500 千円以上)

(単位：千円)

工事名称	請負金額
段上小学校 大規模改修他工事 ※1	1,338,975 (824,730)
甲陽園小学校 長寿命化改修他工事 ※1	1,568,018 (947,345)
高須中学校 体育館棟外壁・屋上防水改修及び瓦木小学校南棟西便所改修建築工事 ※2	37,657
瓦木小学校 体育館空調・南棟西便所改修機械設備工事 ※2	15,759
瓦木小学校 体育館空調・南棟西便所改修電気設備工事 ※2	3,334
瓦木小学校 長寿命化改修他工事 ※1	1,430,000 (2,558)
今津小学校 長寿命化改修他工事 ※1	1,412,400 (2,511)
鳴尾東小学校 体育館棟他大規模改修他建築工事 ※2	100,661
鳴尾東小学校 南棟空調改修・体育館空調・体育館棟 1 階改修他機械設備工事 ※2	38,759
鳴尾東小学校 体育館棟大規模、南棟空調設備改修及び体育館空調他電気設備工事 ※2	47,812
鳴尾東小学校 大規模改修他工事 ※1	975,150 (1,851)
甲武中学校 長寿命化改修他工事 ※1	1,338,975 (234,161)

※1 債務負担行為に係る請負契約については、カッコ書きで令和 5 年度中の支払額を掲載。

※2 他の改修工事と併せて実施した工事。請負金額は事業費全体のうち該当工事分を抽出して記載。

イ 長寿命化予防改修 (外壁改修・屋上防水) 事業

(単位：千円)

事業名	事業費	事業概要
長寿命化予防改修 (屋上防水・外壁改修)	115,597	令和 4 年度予算繰越事業 高須中

主な工事 (請負金額・税込 2,500 千円以上)

(単位：千円)

工事名称	請負金額
高須中学校 体育館棟外壁・屋上防水改修及び瓦木小学校南棟西便所改修建築工事 ※	91,333

※ 他の改修工事と併せて実施した工事。請負金額は事業費全体のうち該当工事分を抽出して記載。

ウ 受変電設備改修事業

(単位：千円)

事業名	事業費	事業概要
受変電設備改修	65,492	小松小、鳴尾中

主な工事（請負金額・税込 2,500 千円以上）

(単位：千円)

工事名称	請負金額
小松小学校 受変電設備改修工事	30,294
鳴尾中学校 受変電設備改修工事	33,550

エ 給水設備改修事業

(単位：千円)

事業名	事業費	事業概要
給水設備改修	14,476	広田小、深津中

主な工事（請負金額・税込 2,500 千円以上）

(単位：千円)

工事名称	請負金額
広田小学校 受水槽改修工事 ※	22,389 (0)
深津中学校 高架水槽改修工事	12,705

※ 次年度への繰越を含む工事については、カッコ書きで令和 5 年度中の支払額を掲載。

オ 空調設備整備事業

(単位：千円)

事業名	事業費	事業概要
中学校施設空調設備整備	19,650	PFI 事業に係る空調整備費用の分割払い

カ 空調設備改修事業

(単位：千円)

事業名	事業費	事業概要
空調設備改修	44,602	西宮高、西宮東高

主な工事（請負金額・税込 2,500 千円以上）

(単位：千円)

工事名称	請負金額
西宮高等学校 南棟 4 階空調設備改修機械設備工事	14,960
西宮東高等学校 南棟・特別棟図書室空調設備改修機械設備工事	27,390

キ 体育館空調設備設置事業

(単位：千円)

事業名	事業費	事業概要
体育館空調設備設置	314,330	夙川小、北夙川小、広田小、上ヶ原小、上ヶ原南小、瓦木小、鳴尾東小、北六甲台小、名塩小、東山台小、鳴尾北小

主な工事（請負金額・税込2,500千円以上）

(単位：千円)

工事名称	請負金額
夙川小学校・広田小学校・上ヶ原小学校・上ヶ原南小学校 体育館空調機械設備工事	95,568
夙川小学校・広田小学校・上ヶ原小学校・上ヶ原南小学校 体育館空調電気設備工事	24,310
北夙川小学校・北六甲台小学校・名塩小学校・東山台小学校 体育館空調機械設備工事	89,980
北夙川小学校・北六甲台小学校・名塩小学校・東山台小学校 体育館空調電気設備工事	31,843
瓦木小学校 体育館空調・南棟西便所改修機械設備工事 ※	19,771
瓦木小学校 体育館空調・南棟西便所改修電気設備工事 ※	4,471
鳴尾東小学校 南棟空調改修・体育館空調・体育館棟1階改修他機械設備工事 ※	18,786
鳴尾東小学校 体育館棟大規模、南棟空調設備改修及び体育館空調他電気設備工事 ※	3,469
鳴尾北小学校・浜脇中学校給食室冷暖房機械設備工事 ※ (鳴尾北小学校体育館空調設備ガス管改修工事)	15,776

※ 他の改修工事と併せて実施した工事。請負金額は事業費全体のうち該当工事分を抽出して記載。

ク 高等学校施設整備事業

(単位：千円)

事業名	事業費	事業概要
高等学校施設整備	1,926	西宮東高（藤棚改修）

ケ トイレ改修事業

(単位：千円)

事業名	事業費	事業概要
トイレ改修	128,707	上ヶ原南小、段上西小、瓦林小、鳴尾小、高須西小、鳴尾東小、大社中、平木中、真砂中、鳴尾南中、山口中

主な工事（請負金額・税込2,500千円以上）

(単位：千円)

工事名称	請負金額
学校施設便所簡易改修建築（その1）工事 (高須西小学校、鳴尾東小学校、真砂中学校、鳴尾南中学校)	23,751

工 事 名 称	請負金額
学校施設便所簡易改修衛生設備（その1）工事 （高須西小学校、鳴尾東小学校、真砂中学校、鳴尾南中学校）	20,077
学校施設便所簡易改修建築（その2）工事 （上ヶ原南小学校、大社中学校、山口中学校）	24,114
学校施設便所簡易改修衛生設備（その2）工事 （上ヶ原南小学校、大社中学校、山口中学校）	13,144
学校施設便所簡易改修建築（その3）工事 （段上西小学校・瓦林小学校、平木中学校）	28,112
学校施設便所簡易改修衛生設備（その3）工事 （段上西小学校・瓦林小学校、平木中学校）	17,937

コ ブロック塀改修事業

（単位：千円）

事 業 名	事 業 費	事 業 概 要
ブロック塀改修	21,190	神原小、上ヶ原小、上甲子園小、今津中

主な工事（請負金額・税込2,500千円以上）

（単位：千円）

工 事 名 称	請負金額
学校施設コンクリートブロック塀改修工事	18,552

サ 照明設備LED化改修事業

（単位：千円）

事 業 名	事 業 費	事 業 概 要
照明設備 LED 化改修	536,321	浜脇小、大社小、夙川小、北夙川小、広田小、平木小、上ヶ原小、上ヶ原南小、段上西小、高木小、瓦林小、上甲子園小、山口小、北六甲台小、名塩小、東山台小、苦楽園中西宮高、西宮東高

主な工事（請負金額・税込2,500千円以上）

（単位：千円）

工 事 名 称	請負金額
夙川小学校・北夙川小学校・平木小学校 照明設備 LED 化工事	83,841
広田小学校・上ヶ原小学校・上ヶ原南小学校 照明設備 LED 化工事	75,635
山口小学校・北六甲台小学校・名塩小学校・東山台小学校 照明設備 LED 化工事	72,105
浜脇小学校・上甲子園小学校・高木小学校 照明設備 LED 化工事	115,762
段上西小学校・大社小学校・瓦林小学校 照明設備 LED 化工事	99,168
苦楽園中学校・西宮高等学校・西宮東高等学校 照明設備 LED 化工事	83,810

シ その他改修整備事業

(単位：千円)

事業名	事業費	事業概要
放送設備改修	5,992	西宮東高
ホール舞台吊物機構緞帳昇降装置改修	6,600	西宮東高ホール

主な工事（請負金額・税込2,500千円以上）

(単位：千円)

工事名称	請負金額
西宮東高等学校 放送設備改修工事	5,992
西宮東高等学校 ホール舞台吊物機構緞帳昇降装置改修工事	6,600

2 学校維持管理事業 (220803)

(単位：件・千円)

区分	工事件数	工事金額	区分	工事件数	工事金額
小学校 ※	516	256,277	幼稚園	50	14,947
中学校 ※	311	162,220	高等学校	46	21,532
特別支援学校	11	7,742	計	934	462,718

※ 西宮浜義務教育学校西校舎は小学校に、東校舎は中学校にそれぞれ計上。

主な工事（請負金額・税込2,500千円以上）

(単位：千円)

工事名称	請負金額
学校園給排水衛生設備年間補修工事	49,411
鳴尾北小学校他9校 老朽化点検・緊急補修工事	34,407
大社中学校他6校 老朽化点検・緊急補修工事	41,711
学校施設外壁・防水補修工事（その1）	8,294
学校施設外壁・防水補修工事（その2）	5,342
学校施設外壁・防水補修工事（その3）	8,773
小学校建具補修工事	4,921
中学校建具補修工事	3,149
学校施設教室床改修工事	7,826

3 施設管理関係事務 (220802)

(1) 教育財産（学校施設）の異動状況

区 分		増 加		減 少		備 考	
		件 数	面積 (㎡)	件 数	面積 (㎡)		
土 地	取得(引継等)	0	0	0	0		
	所管換等	0	0	2	50.95	甲陽園小、樋ノ口小	
建 物	取 得	10		0	0		
	内 訳	新 築	9	82.08	1	0	安井小
		増 築	0	0	0	0	
		引 継	1	0	0	0	
	廃 止	0	0	1	92.21	津門小	
	所管換	0	0	0	0		

(2) 学校園施設の目的外使用許可状況

(単位：件)

区 分	運 動 場	屋内運動場	教 室	プ ール	計	内 訳	
						有 料	無 料
幼 稚 園	1	0	82	0	83	4	79
小 学 校	43	194	84	58	379	37	342
中 学 校	132	742	0	0	874	137	737
特別支援学校	0	14	12	0	26	12	14
高 等 学 校	0	0	0	0	0	0	0
計	176	950	96	58	1,362	189	1173

(3) 西宮東高校ホール（なるお文化ホール）

ア 概要

ホール（644席・車椅子席12席を含む）、会議室（40人）及び学習室兼会議室（48人）を持つ施設として昭和63年8月に開館。

イ 利用件数（午前・午後・夜間をそれぞれ1件として計上）

- ・ ホール 482件
- ・ 会議室 328件
- ・ 会議室兼学習室 293件

ウ ホール利用率（学校の利用を含む）

58.7%（利用日数／開館日数）

西宮市教育年報 令和5年度(2023年度)版

令和6年8月発行
(2024年)

編集・発行 西宮市教育委員会